サポート ガイド（保証規定）

今後必要になる場合がありますので、コンピュータのセットアップが終了したら、お買い上げの製品の情報をご記入ください。

リストの最初の4項目（モデル番号、製品番号、シリアル番号、およびソフトウェアのビルド番号）は、[ヘルプとサポート]から表示できます。起動時に表示される[ウェルカム センタ]内にある[ヘルプとサポート]→[システム情報]の順にクリック、または、起動時に[ウェルカムセンタ]を実行されない方は、Windows Vistaのスタート ボタン→[ヘルプとサポート]→[システム情報]の順にクリックします。オペレーティング システムは、Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]→[システムとメンテナンス]→[システム]の順にクリックすると、[コンピュータの基本的な情報の表示]の下の[Windows Edition]に表示されます。購入日については、購入元の納品書や保証書に記載されている印にてご確認ください。

なお、HPのサポート窓口にお問い合わせになる前に、以下の情報をお手元にご用意ください。

モデル番号：	例：n0000
システム（製品）番号：	例：ABCD-1234
シリアル番号： （10桁の英数字）	例：xxxxxxxxxx
ソフトウェア ビルド番号：	例：20080101
オペレーティング システム：	例：Windows Vista Home Premium 32ビット版
購入日：	例：2008年1月30日

Hewlett-Packard Company
10955 Tantau Ave
Cupertino, CA 95014
USA

サポート ガイド
HP Pavilion Desktop PC
初版 2008年7月
改訂第1版 2008年12月
製品番号：466676-292

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

サポート情報

お客様へ

このたびは、HPのデスクトップ コンピュータをご購入いただきありがとうございます。HPのコンピュータは、開発中に数多くの品質テストを通過することで厳しい品質基準を満たしています。HPはこの厳しい基準により、品質と信頼性の高さを認められています。

HPでは、広範囲におよぶ品質テストを行うことで、すべてのコンピュータが工場出荷前に正しく動作することを確認しています。さらに、コンピュータに貼付した品質保証シールにより、工場出荷後に不正な変更が行われていないことを示しています。

HPでは、製品の拡張およびアップグレードが、すべてのお客様にとって役立つものと考えております。HP製のコンピュータは、お客様のニーズに合わせてアップグレード可能です。

ハードウェアのアップグレードは、コンピュータのセットアップが完了してから初めて行えます。セットアップの方法については、製品に付属の『クイック セットアップ』を参照してください。システムのセットアップおよび電源投入に関するトラブルが発生した場合は、直ちにこの『サポート ガイド』に記載されているHPのサポート窓口にお問い合わせください。この作業は、システムのアップグレードを開始する前に、最初に行う必要があります。

コンピュータ背面のセキュリティ シールを破ることで、お客様は、システムのアップグレードを開始する前にコンピュータの動作が正常であると確認したことになります。セキュリティ シールを破った時点で、法規上許される範囲内において、「ハードウェア限定保証規定」に示されている条件が適用されます。

このたびは、HP製品をお買い上げいただきありがとうございました。本製品を有意義にご活用いただければ幸いです。

お届け時の欠品・不具合について

HPは、製品ご購入直後の欠品や、着荷時不具合にできるだけ速やかに対応いたします。ご購入されましたらすぐに、同梱物に不足品がないかをご確認ください。

製品ご購入後7日以内に製品に不具合が発生した場合や、万が一欠品があった場合には、保証書をお手元にご用意の上、HP Pavilionコール センタまでご連絡ください。HPにて不具合状況を確認させていただき、修理対応や欠品補充などのサポートをいたします。

なお、付属されているCDや登録カード、保証書類は、紛失されても再発行はできません。欠品がないことを十分にご確認の上、保証書、本書等と一緒に大切に保管してください。

困ったときは

情報を入手したり、サポート窓口に問い合わせたりする場合は、以下の順序で行います。

1. コンピュータのセットアップおよび使用方法については、『クイック セットアップ』および製品のマニュアルを確認します。
2. ハードウェアおよびソフトウェアについて調べるには、[Windowsヘルプとサポート]を使用します。**Windows Vistaのスタート ボタン→[ヘルプとサポート]**の順にクリックします。[Windowsヘルプとサポート]には、役立つトラブルシューティング情報や以下のような情報が含まれています。
   - コンピュータを登録するページへのリンク
   - お使いのコンピュータの製品番号、モデル番号、およびシリアル番号などのシステム情報
   - 電子メールでサポートを受ける方法
   - 認定を受けたサポート担当者への連絡方法
   - サポート窓口の電話番号
   - お使いのコンピュータのユーザ ガイドへのリンク
3. ハードウェアに問題があると考えられる場合は、サポート窓口に問い合わせる前に、コンピュータにあらかじめインストールされているハードウェア診断ツールを実行します。**Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[ハードウェア診断ツール]**の順にクリックします。
4. 技術情報や最新ソフトウェアは、インターネットのHPサポート サイト http://h50222.www5.hp.com/support/family12455.htmlで入手します。

5 問題が解決しない場合は、以下の電話番号でHPのサポート窓口にお問い合わせください。

HP Pavilionコール センタ

TEL: 0120-330309

携帯電話から: 03-6830-1870

受付時間

月～金曜日: 午前9時～午後9時

土曜日: 午前9時～午後5時

（祝日、年末年始および5/1を除く）

ユーザ ガイドの場所

お使いのコンピュータから一部のユーザ ガイドを参照できます。Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム」→[ユーザ ガイド]の順にクリックします。

ソフトウェア サポート

お使いのソフトウェアまたはISP（インターネット サービス プロバイダ）について質問がある場合は、ソフトウェアの製造販売元またはISPに問い合わせるか、製造販売元またはISPのWebサイトを参照してください。問い合わせ先およびWebアドレスは以下のとおりです。これらのWebアドレスは、Internet Explorerの[お気に入り]リストに含まれていることもあります。以下に情報がない場合は、電話サポートおよび電子メール サポートが実施されていない可能性があります。記載されていないソフトウェアについては、HPのサポート窓口による30日間の限定サポートが適用されます。以下のソフトウェアは、お使いのコンピュータにインストールされていない場合もあります。

Adobe Reader

http://www.adobe.co.jp/

Norton Internet Security by Symantec

http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/

CyberLink

http://jp.cyberlink.com/jpn/support_jpn/support_index.jsp

お困りですか? HPにお任せください

このコンピュータは、お買い上げいただいた時から長期間にわたって正常に機能するように設計されています。ただし、複雑で高性能な装置のため、場合によっては、故障する可能性もあります。その時は、HPにお任せください。

修理が必要な場合

コンピュータの修理、または部品の交換が必要な場合は、HPのサポート窓口が作業を手配します。

引取修理サービスをご利用になる場合は、HPのサポート窓口からのご案内に従って、巻末の「HP PavilionデスクトップPC修理依頼確認書」にあらかじめ必要事項をご記入いただき、パソコン本体箱への同梱をお願いいたします。

このサービスは、保証期間中適用されます。

この保証には、一部制限および例外事項（ならびに重要な詳細事項）があります。詳しくは、「ハードウェア限定保証規定」を参照してください。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

個人情報保護について

HPカスタマ サポートでは、サービスご利用時にお客様の個人情報をお伺いする場合がございます。お伺いいたしました個人情報はご購入いただいた製品についての保守、修理、電話サポート等カスタマ サポート サービスを履行するためにのみ利用させていただきます。また、個人情報を正確かつ最新の状態で管理するよう努めるとともに、個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するため、適正な安全管理措置を講じます。

HPにおける個人情報保護の方針の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

ホームページ:
http://h50146.www5.hp.com/info/privacy/policyindex.html

ハードウェア限定保証規定

保証範囲

この保証規定は、HPというブランド名のもとで日本ヒューレット・パッカード株式会社(以下「HP」という)により製造・販売された製品のハードウェアに適用されます。HPというブランド名のもとで販売されたソフトウェア(ハードウェア製品にあらかじめインストールされているプログラムを含む)に関するHPの義務は、HP所定のエンドユーザ使用許諾契約書またはプログラム使用許諾契約書の規定に従います。HPは、この保証規定に基づきソフトウェアを修理または交換する義務を負いません。HPというブランド名以外のハードウェアおよびソフトウェア製品については、現状のままで提供されるものとしますが、その製品の製造元、供給元または発行元により独自の保証が提供されることがあります。

保証期間および保証サービス提供方法

この製品の保証期間は、電話サポート、電子メール サポートを含み、製品ご購入日から1年間です。(セットアップ時の電話サポートは、30日間です。)

この製品が保証期間内に故障した場合には、HPはクーリエ修理サービス(引き取り修理サービス)またはセンドバック修理サービスを無償提供いたします。

保証期間および保証サービスの提供方法は製品ごとに異なります。製品ごとの保証期間および保証サービスの提供方法は、「サービスをご利用になる前に必ずご確認ください」に記載されています。「サービスをご利用になる前に必ずご確認ください」およびこの保証規定は、その記載内容および規定が適用されるHP製品に添付されています。

保証サービスの種類

引取修理サービス

HP限定保証には、引取修理サービスが含まれています。引取修理サービスでは、HPはお客様の所在地から故障したHPハードウェア製品を引取し、修理後に返送します。このサービスにかかる修理費用、輸送費用、および保険料は、すべてHPが負担します。

保証条件

HPは、お客様がHPまたはHP製品販売店から購入されたハードウェア製品について、保証期間中通常の使用条件のもとで、材質または製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間はご購入の日より開始し、製品を購入された日付、および販売店印など所定事項の記入のある保証書をご提示いただいた場合に限り保証を適用します。この保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみに適用され、お客様が製品を転売された第三者には適用されません。また、消耗品については保証の対象とはなりません。HPは、保証期間中に製品が故障した場合に、HPの選択によりその製品を修理するか同等または同等以上の製品との交換をおこないます。修理には、新品または同等の性能を持つ再生部品を使用します。この保証に基づいて交換された部品および製品はすべてHPの所有となります。

この保証規定は日本国内においてのみ有効です。HP製品の保証およびサービス条件は、国ごとに異なります。すなわち、サービスが提供される国の保証およびサービス条件が適用されます。この保証規定は、HPまたはHP製品販売店で購入された製品にのみ適用されます。

この保証規定は、次に記載する事項が原因で損傷または故障した製品には適用されません。

(a)事故、製品の誤用、濫用、汚染、不適切または不十分な保守または較正、その他外的原因

(b)火災、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因

(c)製品のユーザ マニュアルに記載されている動作条件の範囲外での使用

(d)HPから提供されていないソフトウェア、インターフェース、部品、または販売した部品の使用

(e)製品の改造

(f)HPまたはHP正規保守代理店以外の者による修理、保守サービス、およびそれに類する行為

(g)消耗品

(h)ウィルス感染

(i)適切な設置環境が準備、維持されていない場合

(j)運搬中の損失または損傷

HPは、保証対象製品の修理または交換をもって保証サービスを完了するもので、プログラム、データ、記録装置および記載媒体に対する損傷または記録損失につての責任を負いません。製品に記憶または記録されたデータやプログラムは、修理に際し破壊または消去される場合があります。この破壊または消去されたものの復元についてHPは責任を負いません。HPは、この保証規定に明示の規定を除く一切の明示または黙示の保証(商品性および特定目的への適合性に関する黙示の保証を含む)をするものではありません。HPは、この保証規定に明記されていない一切の保証を否認します。法律により黙示の保証が適用される場合も、この保証規定に明示されたものに限られます。

保証制限

HPは、製品自体または製品が機能しないことによって生じたいかなる損害(プログラムやデータの損傷および消失、逸失利益、付随的損害、派生的損害を含む)について責任を負いません。また、第三者からのまたは第三者のために成す、お客様からのいかなる請求についても責任を負いません。

この制限は、損害賠償またはその他の請求がこの保証規定、不法行為(過失責任および厳格な製品責任を含む)、契約上の請求またはそれ以外の請求原因に基づくものであるかに拘らず、適用されるものとします。また、何人もこの制限について権利を放棄したり、変更することはできません。この責任の制限は、HPまたはHPの代理人がそのような損害の可能性についてお客様より事前に知らされていた場合においても有効とします。ただし、人身障害に対する賠償請求にはこの制限が適用されません。

HP Care Pack(有償サービス)

HP Care Pack(ケアパック)は、製品本体のハードウェア保守期間やサービスレベルを拡張するサービスです。

保証期間の延長

HP Care Packをご購入いただくと、保証期間のハードウェア保守期間を延長できます。

電話による無償テクニカルサポート期間の延長

HP Care Packをご購入いただくと、保証期間の電話による無償保守テクニカルサポート期間を延長できます。

修理費の低価格化・定額化

製品の標準保証期間が終了した後に故障した場合、故障箇所によっては思わぬ修理費用が掛かる場合があります。しかし、あらかじめHP Care Packをご購入いただくことで予定外の支出がなくなります。万一、二度目の故障が起こった場合でもHP Care Packの契約期間中は無償修理が提供されるので安心です。

迅速な修理

HP Care Packでは、あらかじめお客様登録をしていただきますので、万一の故障の際に専用受付窓口が最小の時間で受付対応させていただきます。HP Care Packのご購入・ご登録がない場合には、保証書確認や有償修理の場合のお手続きなど所定の受付対応後に修理を承ります。

HP Care Packのご購入について

HP Care Packは、ハードウェア製品と同時あるいは1年以内にお買い求めください。HP Care Packのご購入については、HPまたは製品お買い上げの販売店にお問い合わせください。

詳しくはHPカスタマ・インフォメーションセンター(電話03-6416-6660)にお問い合わせください。

HP Care Packの詳細はHPのホームページ
http://www.hp.com/jp/carepack_fixed/でもご案内しています。

サービスをご利用になる前に必ずご確認ください。

サービスやサポートを受ける前に何か準備が必要ですか。

HPのサービスを効率よくお受けになるために、お電話の際には製品の保証書をお手元にご用意ください。

修理受付やテクニカルサポートの際には以下の情報をお客様にお尋ねいたします。

- 製品のシリアルナンバー、機種名および製品番号
- ハードウェア構成、ご使用のソフトウェアの種類とバージョン
- 表示されたエラー・メッセージ、お客様の行った操作など

製品の取扱説明書にトラブルの解決方法が記載されている場合がありますので、一度ご確認ください。また、HPは、インターネットで製品やサービスに関する情報を提供しています。お客様からよくいただくご質問に対する答えなども掲載しておりますので、HPのホームページ（http://h50222.www5.hp.com/support/family12455.html）をご覧ください。

この保証にはどのような条件があるのですか。

HPは、保証書をお客様からご提示いただいた場合に保証サービスを提供いたします。保証書は再発行いたしませんので保証規定と共に大切に保管してください。

製品の修理作業に際し、製品に記録されたデータやプログラムが破壊または消去される場合があります。HPは、お客様のデータやプログラムの保存および復元についての責任を負いません。修理の前にはお客様がプログラムやデータのバックアップを取られることをお願いいたします。同様に修理後のバックアップデータの復元や、各種再設定はお客様にて行っていただきます。

保証期間は製品ご購入日から開始します。この製品が保証期間内に故障した場合には、HPまたはHP正規保守代理店が保証規定に基づいて修理サービスを行います。

ソフトウェア テクニカル サポート

HPソフトウェア、HPによりプリインストールされた第三者製ソフトウェア、およびHPから購入した第三者製ソフトウェアに対するテクニカル サポートは、HPへの複数の連絡手段により、ご購入日から30日間受けることができます。ただし、すべてのソフトウェア製品にテクニカル サポートが提供されるものではありません。詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。連絡手段には電子メディアおよび電話による連絡が含まれます。オンライン リソースおよび電話によるサポートについては、「HPへのお問い合わせ」をご覧ください。例外事項はソフトウェア使用許諾契約に規定されます。

ソフトウェア テクニカル サポートが提供される場合には、以下の範囲に限定されます。

- インストールに関するご質問へのご回答（方法、開始手順、および要件）
- ソフトウェアのセットアップおよび設定（方法および開始手順）。システムの最適化、カスタマイズ、およびネットワークの設定は**除く**
- システム エラー メッセージの説明
- システムの問題とソフトウェア使用の問題の区別
- サポート パック情報またはアップデートの入手

ソフトウェア テクニカル サポートには以下のサポートは含まれません。

- ユーザにより生成されたプログラムまたはソース コードの生成または診断
- 非HP製品のインストール

HPへのお問い合わせ

お使いの製品が限定保証期間中に故障した場合は、以下の方法でサポートをお受けいただくことができます。

- サポート窓口については、HP Pavilionコール センタ（電話0120-330309）へお問い合わせください。
- サービスを効率よくお受けになるために、お電話の際には製品の保証書をお手元にご用意ください。修理受付やテクニカル サポートの際には、以下の情報をお客様にお尋ねいたします。
  - 製品のシリアルナンバー、機種名、および製品番号
  - ハードウェア構成、ご使用のソフトウェアの種類とバージョン
  - 表示されたエラーメッセージ、お客様の行った操作など

製品の取扱説明書にトラブルの解決方法が記載されている場合がありますので、一度ご確認ください。また、HPは、インターネットで製品やサービスに関する情報を提供しています。お客様からよくいただくご質問に対する答えなども掲載していますので、日本HPのホームページ（http://www.hp.com/jp/）をご覧ください。

HP Pavilionコール センタ

TEL:	0120-330309
携帯電話/PHSからは:	03-6830-1870
受付時間	
月～金曜日:	午前9時～午後9時
土曜日:	午前9時～午後5時

（祝日、年末年始および5/1を除く）

保証およびサポートの適用範囲の確認方法

保証、サービス、およびサポート、また製品についての最新情報を確認するには、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/support.htmlを参照してください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品を使用する前に、以下の条項をよくお読みください。

本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「EULA」という）は、HPの製品（以下「HP製品」という）とともに使用するためにHPがインストールまたは提供した「ソフトウェア製品」のうちお客様とHP（またはそのサプライヤ）間の別途の使用許諾契約の適用を受けない「ソフトウェア製品」のお客様による使用に適用される、（a）お客様（個人または単一法人）と（b）Hewlett-Packard Company（以下「HP」という）との間の法的な契約書です。他のソフトウェアには、そのオンライン文書類の中にEULAが含まれている場合があります。「ソフトウェア製品」とは、関連媒体、印刷物、および「オンライン」または電子的文書類を含むコンピュータソフトウェアのことです。本「EULA」の補足または追加の規定が「HP製品」に添付されている場合があります。

「ソフトウェア製品」に関する権利は、お客様が本「EULA」の全ての条件に同意する場合にのみ提供されます。[同意する]ボタンを選択することによって、お客様は本「EULA」の条件に拘束されることに同意したものとみなされます。同意されない場合、本「EULA」の条件に同意されないことを示すボタンを選択し、インストール、複製、ダウンロードまたはその他の方法で「ソフトウェア製品」を使用しないでください。未使用の「ソフトウェア製品」およびお客様のHPハードウェアを、ご購入後14日以内に購入店までご返却いただければ、代金を全額返還いたします。

1. 使用許諾

お客様が本EULAの全条項を遵守することを条件として、HPは、お客様に、以下の権利を許諾します。

a. 使用

「ソフトウェア製品」は、単一のコンピュータ（以下、「お客様のコンピュータ」という）で使用できるものとします。「ソフトウェア製品」がインターネット経由でお客様に提供されたものであり、最初に複数のコンピュータでの使用が許諾されていた場合、「ソフトウェア製品」は、それらのコンピュータでのみインストールおよび使用できるものとします。本「ソフトウェア製品」の構成部分を切り離して、複数のコンピュータで使用することはできません。お客様には、本「ソフトウェア製品」を頒布する権利はありません。お客様は、「ソフトウェア製品」を使用するために、お客様のコンピュータの一時メモリ（RAM）に「ソフトウェア製品」を読み込ませることができるものとします。

b. 保存

お客様は、本「ソフトウェア製品」を「HP製品」のローカル メモリまたはストレージデバイスに複製することができるものとします。

c. 複製

お客様は、元の「ソフトウェア製品」のすべての財産権表示を損なわず、バックアップの目的でのみ使用することを条件に、「ソフトウェア製品」のアーカイブ用複製物またはバックアップ用複製物を作成できるものとします。

d. 権利の留保

本「EULA」において明示的にお客様に許諾されていない権利はすべて、HPおよびそのサプライヤが留保します。

e. フリーウェア

本「EULA」の条件に関わらず、全部または一部を問わず、HPの専有ソフトウェアではないソフトウェア製品または第三者による公有使用許諾に基づいて提供されたソフトウェアであるソフトウェア製品（以下「フリーウェア」という）は、個別契約、シュリンクラップ使用許諾、またはダウンロード時に同意される電子的使用許諾条件のいずれの形式であるかを問わずに、かかる「フリーウェア」に付随するソフトウェア使用許諾契約の条件に従うことを条件として、お客様に使用許諾されるものです。お客様による「フリーウェア」の使用には、すべてかかる使用許諾条件が適用されるものとします。

f. 復旧ソリューション

「HP製品」に付属して、または「HP製品」用として提供されたソフトウェア復旧ソリューションは、ハードドライブ ベースのソリューション、外付け媒体ベースの復旧ソリューション（たとえば、フロッピーディスク、CD、DVDなど）、またはその他の形式で提供される同等のソリューションのいずれの形式であるかを問わずに、最初の購入時にその復旧ソリューションが提供された「HP製品」のハードディスクを復旧する場合にのみ使用できるものとします。かかる復旧ソリューションに含まれるMicrosoft®社オペレーティング システム ソフトウェアの使用については、Microsoft社使用許諾契約書が適用されます。

2. アップグレード

アップグレードとして特定された「ソフトウェア製品」を使用するためには、お客様はまず、アップグレードの資格があるものとしてHPが認定した原「ソフトウェア製品」の使用許諾を取得しなければなりません。アップグレードの適用以降は、お客様は、アップグレードに

関する資格の根拠となった、原「ソフトウェア製品」を使用できないものとします。

3. 追加ソフトウェア

HPが提供した原「ソフトウェア製品」のアップデートまたは追加ソフトウェアには、HPがこれらアップグレードまたは追加ソフトウェアと共に別途条件を提供する場合を除き、本「EULA」が適用されます。かかる条件がお互いに矛盾する場合は、別途提供された条件が優先します。

4. 譲渡

a. 第三者

「ソフトウェア製品」の初期ユーザは、一回に限り、「ソフトウェア製品」を他のエンド ユーザに譲渡できるものとします。いかなる譲渡にも、すべての構成部品、媒体、印刷物、本「EULA」、および、該当する場合は「Certificate of Authenticity」を含める必要があります。委託などの間接的な譲渡は許可されないものとします。譲渡に先立ち、譲渡される製品を受理するエンド ユーザは、すべての「EULA」条件に同意する必要があります。「ソフトウェア製品」の譲渡に伴い、お客様の所有する使用許諾は自動的に終了します。

b. 制限

お客様は、「ソフトウェア製品」を賃貸、リース、または貸与できず、商業用目的でのタイムシェアリングまたはサービス ビューロでの使用を目的として、「ソフトウェア製品」を使用できないものとします。お客様は、本「EULA」に明示的に規定される場合を除き、ソフトウェア製品の使用を第三者に許諾したり、ソフトウェア製品を譲渡または移転したりできないものとします。

5. 財産権

「ソフトウェア製品」およびユーザマニュアル等の文書類に関するすべての知的財産権は、HPまたはそのサプライヤに帰属し、米国著作権、企業秘密、商標法、その他の適用される法律ならびに国際条約の規定によって保護されています。お客様は、「ソフトウェア製品」の識別、著作権表示、または財産権制限の記載を製品から除去してはならないものとします。

6. リバース エンジニアリングの制限

お客様は、「ソフトウェア製品」をリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルできないものとします。ただし、この制限に関わらず、準拠法によって許可される場合、本「EULA」に明示的に規定されている場合はこの限りではありません。

7. 期間

本「EULA」は、終了または拒絶されない限り、効力を有するものとします。本「EULA」は、本「EULA」に規定された条件に基づいて、またはお客様が本「EULA」のいずれかの条件を遵守しなかった場合にも終了されます。

8. データ使用の承諾

お客様は、HPおよびその関連会社が、「ソフトウェア製品」に関するサポート サービスに関連してお客様が提供する技術情報を収集し、これを使用する場合があることに同意するものとします。HPは、このサービスの提供に必要な範囲以外で、この情報を、お客様を個人的に特定する形式において使用しないことに同意します。

9. 保証の否認

準拠法によって許可される最大限の範囲において、HPおよびそのサプライヤは、「ソフトウェア製品」を、「現状有姿」の状態で「瑕疵を問わない条件」で提供します。HPおよびそのサプライヤは、明示的もしくは黙示的であるかまたは制定法によるかを問わず、「ソフトウェア製品」に関し、財産権および非侵害に対する保証、ならびに、市場性、特定目的への適合性、およびウィルスに汚染されていないことに対する黙示的保証、義務または条件を含む(ただしこれらに限定されません)、他の一切の保証および条件を否認します。州/管轄地域によっては、黙示的保証の除外または黙示的保証の期間限定が許可されていない場合もあります。その場合は、上記の保証の否認はお客様には適用されません。

10. 責任限定

お客様が被ることになる損害に関わらず、本「EULA」の規定に基づくHPおよびそのサプライヤの全責任、および上記すべてに関するお客様への唯一の救済は、お客様が「ソフトウェア製品」に対して実際に別途支払った金額または5米ドルのうちいずれか大きい方の金額を限度とするものとします。準拠法によって許可される最大限の範囲において、HPまたはそのサプライヤは、いかなる場合であっても、「ソフトウェア製品」の使用もしくは使用不能に関連して発生する、あるいはその他本「EULA」の規定に関連して発生する特別損害、付随的損害、間接的損害、または派生的損害(利益の喪失、秘密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、およびプライバシーの喪失による損害を含むが、これらに限定されない)については、HPまたはいずれかのサプライヤがこれらの損害発生の可能性を通知されていた場合であっても、また、お客様への救済がその本来の目的を達成できない場合であっても、一切責任を負わないものとします。州/管轄地域によっては、付随的損害または派生的損害の除外または制限が許可されていない場合もあります。その場合は、上記の制限または除外はお客様には適用されません。

11. 米国政府顧客

FAR12.211および12.212に合致して、商用コンピュータソフトウェ

ア、コンピュータソフトウェア文書類、および商用品の技術データは、HP標準の商用使用許諾に基づき、米国政府に使用許諾されます。

12. 輸出法の遵守

お客様は、米国およびその他の国のすべての法律および規則（以下「輸出法」という）を遵守して、「ソフトウェア製品」が、（1）直接もしくは間接を問わず、「輸出法」に違反して輸出されないこと、または（2）核兵器、化学兵器、または生物兵器の拡散を含み（ただしこれらに限定されない）、輸出法によって禁止されているいかなる目的のためにも使用されないことを保証するものとします。

13. 契約の能力と権限

お客様は、居住している国/州/地域において法的な成人年齢に達していること、また、該当する場合、お客様はお客様の雇用者より本契約締結に関する正当な権限を与えられていることが、必要です。

14. 準拠法

本「EULA」の準拠法は米国カリフォルニア州法とします。

15. 完全な契約

本「EULA」（「HP製品」と共に提供される本「EULA」の追加または修正の規定を含む）は、「ソフトウェア製品」に関するお客様とHPとの間の完全な契約であって、「ソフトウェア製品」または本「EULA」が扱うその他の事項に関して、口頭または書面を問わずになされた、従前のまたは現時点の連絡事項、提案事項、および表明事項のすべてに優先するものです。HPのポリシーまたはサポート サービス用プログラムの条件が、本「EULA」の条件と矛盾する場合には、本「EULA」の条件が優先して適用されます。

適合宣言書

ISO/IEC 17050-1およびEN 17050-1準拠

供給者名: Hewlett-Packard Company
供給者所在地: Hewlett-Packard Company
10955 Tantau Ave
Cupertino, CA. 95014

は、以下の製品

製品: パーソナル コンピュータ
モデル番号: 900
a000、a1000、a5000、a6000
CPT-001 P、CPT-001 R、CPT-002 P、CPT-002 R、CPT-003 P、CPT-003 R、CPT-004 P、CPT-004 R、CPT-005 R
CQ2000
d1000、d4000、dx2000、d5000
g2000、g3000
m000、m1000、m5000、m7000、m8000、m9000
s0000、s3000、s7000
SR1000、SR2000、SR5000、SA4000、SV2000、SV7000、SG2000、SG3000
t000、t3000
u6000
v2000、v7000
w1000、w5000
x5000、z500、z6000、IQ500、IQ700、IQ800シリーズ
製品オプション: モデム カード:RD01-D850、CX-9Z-NR0134
Bluetooth:BM-GP-BR-51
TVチューナ カード:71xxx、74xxx、78xxx、26xxx、25xxx、JayHawk、Fennec、Twolf
キーボード:51xx、KB-06xx、KB-09xx、KM713A、KU-0841、SK29xx、I101-P01、PR11-01、RK713A、9131URF、5189URF
マウス:KM713A、RM713A、M389、M889、MOBJKC、MOBJKO、MOBLUL、MODGUO、M-SBQ133、M-SBP133、M-SBF96、M60PB、N17RBP、N17ROPKYE、9131URF、5189URF、MORFB1UO

が以下の製品規格に適合することを宣言します。

安全: IEC 60950-1:2001 / EN60950-1: 2001
EN 60825-1: 1994 + A1: 2002 + A2: 2001, Class 1 (Laser/LED)
電波: CISPR 22: 1997 / EN 55022: 1998 +A1:2000 +A2:2003, Class B/ EN 55022:2006, Class B
CISPR 24: 1997 / EN 55024:+1998 +A1:2001 +A2:2003
EN 55020:1995/ EN 55020:2002 +A1:2002 + A2:2005
EN 55013:2001 +A1:2003
EN 61000-3-2: 2006, Class D
EN 61000-3-3: 1995 + A1: 2001+ A2:2005
FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B / ICES-003
AS/NZS CISPR 22: 2004/ AS/NZS CISPR 22: 2006
電気通信: TBR 21: 1998
EN 300328: V.1.6.1、Technical requirements for Radio equipment

補足情報:

また、これらの製品は、低電圧指令(2006/95/EC)、EMC指令(2004/108/EEC)およびR&TTE指令(99/5/EC)に準拠し、それにより「CEマーキング」を実施しています。

この装置は、FCCルールのPart 15に準拠しています。以下の2つの条件に従って動作します。(1)本装置が有害な干渉を発生しない、および(2)本装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、受信したすべての干渉を受け入れなければならない。

Cupertino, CA USA　2008年8月20日

連絡窓口(規制準拠の情報に限る):

オーストラリア:Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Pty Ltd., 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130
ヨーロッパ:Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Böblingen, Germany (FAX: +49-7031-14-3143)
北米:Hardware Quality Eng. Manager, Hewlett-Packard, CPC, 10955 Tantau Ave., Cupertino, CA 95014

動作仕様

定格電源:	AC入力 100～127V∿、3A、4Aまたは6A* 200～240V∿、2Aまたは3A*
	50/60 Hz
温度(動作時):	5～35℃
温度(非動作時):	–30～65℃
動作保証湿度:	15～80%(26℃の場合)
標高(動作時):	0～2000 m
標高(非動作時):	0～4572 m

*正確な定格電源については、コンピュータの背面にある定格ラベルを参照してください。

規定および安全に関する情報

警告:この形式の文章は、その指示に従わないと、装置の損傷、データの損失、人体への傷害、または生命の危険を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

警告:可動式の電動部品を内蔵しています。筐体を開ける前に、電源を切り、電源コンセントからプラグを抜いてください。筐体を元の状態に戻してから、電源を入れてください。

警告:コンピュータは重いものですので、移動する場合は、人体への負担の少ない方法で持ち上げてください。

警告:コンピュータを設置して電源に接続する前に、このマニュアルに記載されている「その他の安全に関する情報」をお読みください。

化学物質

HP では、REACH (Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council)などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、http://www.hp.com/go/reach/(英語サイト)にアクセスしてください。

2005年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有に付きまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示に付きましては、http://www.hp.com/go/jisc0950/を参照してください。

HPリサイクル プログラム

HPでは、使用済みのHP製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。

規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HPのリサイクル プログラムについては、HPのWebサイト(http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp)を参照してください。

注:コンピュータに内蔵されているバッテリは家庭用ごみとして捨てないでください。内蔵バッテリを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。バッテリは消耗品です。

PCリサイクルシール

「資源有効利用促進法」に基づき、ご家庭で使用済みとなったパソコンの、メーカー等による回収および再資源化がスタートしました。日本HPでは、個人のお客様の購入比率が高い本製品を家庭系パソコンリサイクル対象商品とし、PCリサイクルシールを製品本体に貼付して出荷しています。本シールの貼付された弊社製品が不要となった場合には、弊社にて回収再資源化を無償で実施します。

PCリサイクルシールには登録ナンバーが印字されておりますので、絶対にはがさないでください。万一、本シールをはがしたり紛失したりされますと、排出時に回収再資源化料金をご負担いただく場合がございます。

排出時の連絡先

日本ヒューレット・パッカード株式会社
家庭系PCリサイクル窓口

- 電話番号:0120-152523
- FAX番号:045-682-1705
- e-mail:pc-recycle@port.ne.jp
- 受付時間:
  月～金10:00～12:00/13:00～17:00
  (休日:土、日、祝日、および年末年始等当社の休日)

※電話番号などの連絡先は、予告なく変更となる場合があります。その節はご容赦願います。

オーディオの音量について

音楽などを大音量で長時間にわたって聴くと、聴覚に害を与える可能性があります。聴覚への害を防ぐため、音量を安全なレベルに下げるとともに、大音量で聴く時間を短くするようにしてください。

- 安全のため、ヘッドセットやイヤフォンを使用する前に、必ず音量を調整してください。ヘッドフォンの種類によっては、音量の設定が同じでも音が大きく聞こえる場合があります。
- オーディオまたはイコライザの初期設定を変更すると音量が大きくなる場合がありますので、操作は慎重に行ってください。
- HP製のコンピュータにヘッドセットまたはイヤフォンが標準で付属している場合、それらはEN 50332-1に準拠しています。
- 一般的に、オーディオ ライン出力インタフェースは、ヘッドセットやイヤフォンとともに使用することを目的としていません。

警告:この装置を使用する時は、火傷や感電、火災を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- **湿気の多い場所では、この装置を使用しないでください。**
- **雷が鳴っている時は、この装置を使用しないでください。落雷による感電の恐れがあります。**
- **この装置は、ガス漏れの発生を通報する場合には、現場では使用しないでください。使用する場合は、ガス漏れの現場から十分に離れてください。**
- **装置を開けたり、絶縁されていないモデム ケーブル、コネクタ、または内部部品に触れたりする場合は、必ず電話のケーブルを抜いてから作業を行ってください。**
- **この装置に電話回線コードが付属していない場合は、AWG26以上の太さの電気通信回線コードを使用してください。**
- **モデム ケーブルや電話線をネットワーク インタフェース カード(NIC)コネクタに差し込まないでください。**

その他の安全に関する情報

本製品は、IT電源システム(IEC 60950に基づく、アースに直接接続されていないAC配電システム)への接続テストは行っていません。

AC電源の安全に関する警告

警告:電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。電源コードは、お使いのコンピュータを外部電源に接続するための主要な装置です。安全に使用していただくために、コンピュータに付属の電源コードにはアース端子が付いています。感電を防ぐため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。

警告:お使いのコンピュータには、115V∿または230V∿の電力システム用の電圧選択スイッチが搭載されています。電圧選択スイッチは、そのコンピュータを購入した国/地域の電圧に設定されています。電圧選択スイッチの位置を変更すると、コンピュータが損傷し、黙示の保証が適用されない場合があります。

警告:電話回線からの感電を防ぐため、コンピュータを電話線に接続する時は、先に電源コンセントに接続してください。また、電源コンセントからコンピュータを取り外す前に、電話線を抜いてください。

警告:コンピュータのカバーを取り付けたり取り外したりする前に、必ず電話回線からモデム ケーブルを抜いてください。

警告:カバーを取り外したままでコンピュータを動作させないでください。

警告：コンピュータの点検作業を行う時は、必ず電源、電気通信システム（電話回線など）、ネットワーク、モデムなどから取り外してください。取り外さないと、けがや装置の損傷を引き起こすことがあります。本製品の電源装置およびモデム内は電圧が高くなっています。

リチウム バッテリに関するご注意

警告：このコンピュータには、CR2032タイプのリチウム バッテリが使用されています。間違った種類のバッテリを取り付けると、バッテリが破裂する恐れがあります。必ず、同一タイプまたは製造販売元が推奨する同等品と交換してください。使用済みのバッテリは、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、正しく処分してください。

レーザー安全基準について

Class 1 LED製品

CDおよびDVDドライブにはレーザー システムが内蔵されているため、米国放射線規制法（Radiation Control for Health and Safety Act of 1968）に基づき、米国保健社会福祉省（DHHS）の放射線基準でClass 1レーザー装置として分類されます。

製品の保守作業が必要になった場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

警告：『アップグレード ガイド』に記載されていない方法で調整などの作業を行うと、放射線をあびる危険性があります。レーザー光線を直接あびることを防ぐため、CDまたはDVDドライブの内部を開けることはお止めください。

レーザー製品ラベル

以下のラベルまたは同等のものがレーザー製品に貼付されています。

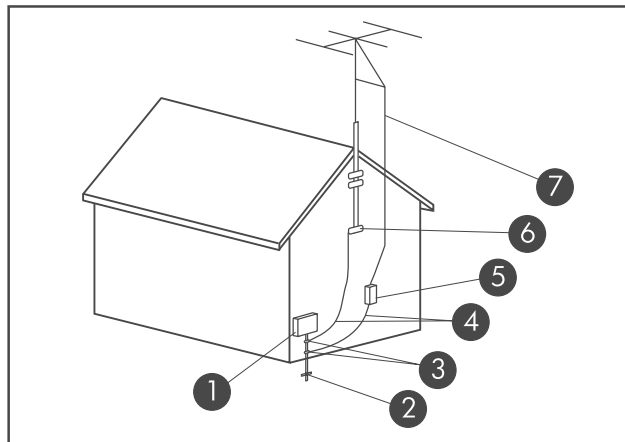
このシステムは、Class 1レーザー装置として分類されます。左記のラベルがレーザー装置に貼付されています。

テレビ アンテナ コネクタの保護

屋外のテレビ アンテナの接地

製品に屋外のアンテナやケーブル システムを接続している場合は、アース端子を使用して接地することで、サージ電圧や静電気の蓄積から保護してください。米国電気工事規程（NEC）の810条、ANSI/NFPA70は、主柱と支持装置の適切なアース、引き込み線のアンテナ放電ユニットへのアース、アース用導体のサイズ、アンテナ放電ユニットの位置、アース電極の接続、アース電極の要件などを定めています。

雷からの保護

雷雨の間、または無人になり長期間使用しない時の製品の保護として、製品のプラグを壁コンセントから抜き、アンテナおよび配線システムを取り外してください。これにより、雷雨や電力線のサージによる製品の損傷を防ぎます。

アンテナの接地

アンテナの接地

番号	接地するコンポーネント
1	電源供給装置
2	電源供給アース電極システム（NEC第250条のH）
3	接地クランプ
4	接地線（NEC第810-21節）
5	アンテナ放電ユニット（NEC第810-20節）
6	接地クランプ
7	アンテナの引き込み線

電力線

室外アンテナ システムは、送電線やその他の電気回路、電力回路の付近、またはそれらに落下する恐れのある場所には設置しないでください。

警告：室外アンテナ システムを設置する時は、電力線や電力回路に触れないように慎重に行ってください。接触すると生命に危険を及ぼす恐れがあります。

トラブルシューティングおよびメンテナンス

メンテナンス

このセクションで説明する作業を行うことで、お使いのコンピュータのトラブルを防止できます。また、将来トラブルが発生した場合に、重要な情報を簡単に復元できます。

データ バックアップ ディスクの作成

お使いのコンピュータにインストールされているDVD作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メール メッセージ、およびWebサイトのブックマークなどの重要な情報のバックアップ ディスクを作成できます。

バックアップ ディスクへのデータの書き込みには、書き込み検証機能のあるソフトウェアを使用してください。この検証機能とは、ハードディスク上のデータとディスクにコピーされたデータを比較し、正確なコピーであるかどうかを確認するものです。ディスク作成ソフトウェアの種類によっては、この機能を手動で有効にする必要があります。

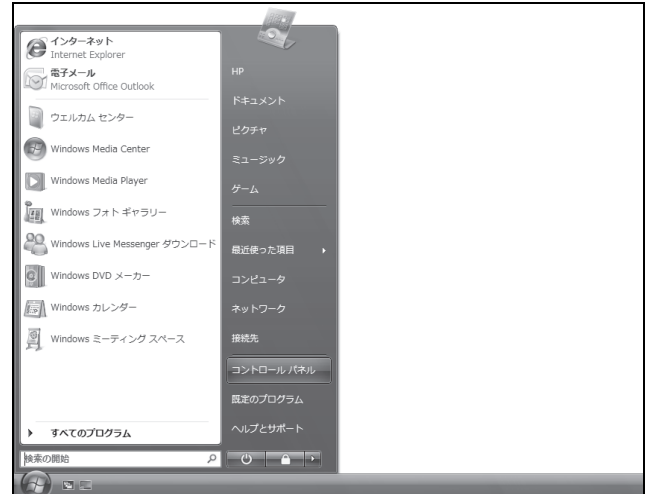
システム リカバリ ディスクの作成

これは、お使いのコンピュータが正常に動作している時に1回だけ実行する必要がある作業です。将来、コンピュータにトラブルが発生した場合に、作成したシステム リカバリ ディスクを使用して工場出荷時の設定に復元できます。

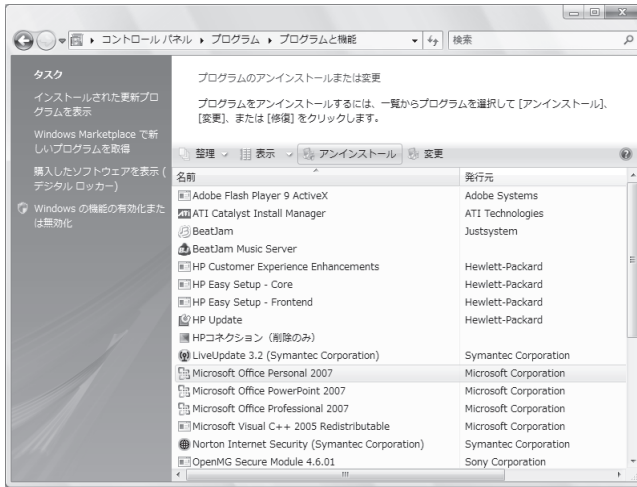
システム リカバリ ディスクを作成する時は、まず46ページの「システム リカバリ」をお読みください。

使用していないプログラムの削除

使用していないプログラムがあると、メモリの空き領域が少なくなり、コンピュータの動作が遅くなります。使用していないプログラムは以下の手順でアンインストールします。

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。**

2 **[プログラムのアンインストール]をクリックします。**

[プログラムと機能]ウィンドウが開きます。

3 削除するプログラムを選択し、**[アンインストール]**をクリックします。

4 画面の説明に沿って操作します。

注：独自の削除機能を持つプログラムもあります。[コントロール パネル]からプログラムを削除できない場合は、プログラムの説明書またはヘルプを参照してください。

Windows Updateの使用

アップデートがないか確認するか、または毎月自動的にアップデートが行われるようにスケジュールを設定します。（詳しくは『コンピュータの準備』を参照してください。）

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします。

2 **[セキュリティ]**の**[更新プログラムの確認]**をクリックします。

3 **[更新プログラムのインストール]**をクリックします。

スタートアップ時に自動的に実行されるプログラムの確認

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[Windows Defender]**の順にクリックします。

2 **[ツール]**をクリックします。

3 **[ソフトウェア エクスプローラ]**をクリックします。

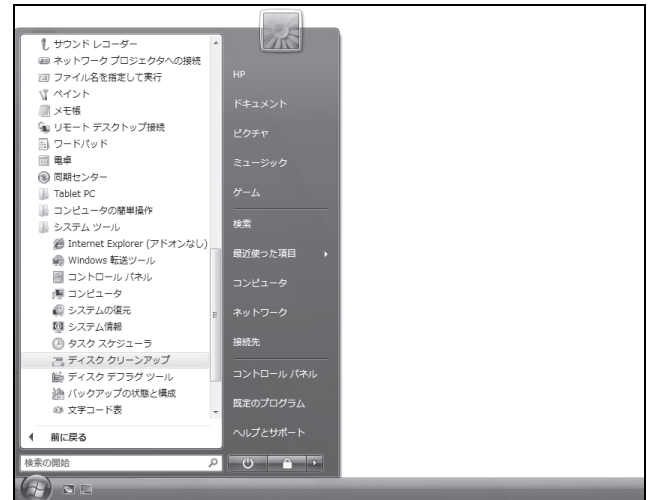
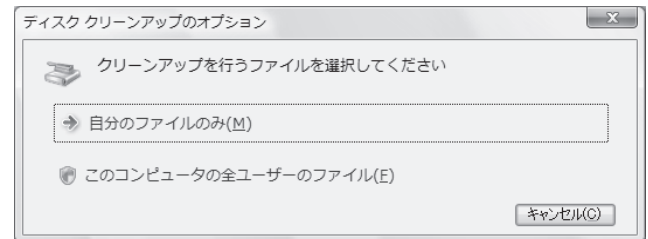
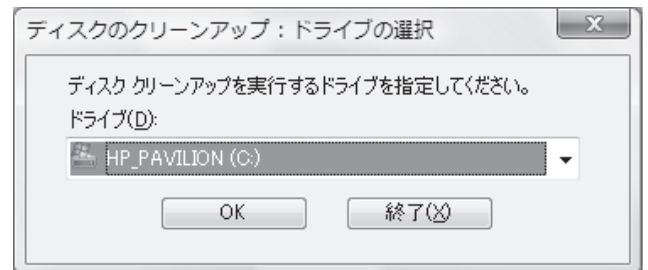
4 [カテゴリ]リストで**[スタートアップ プログラム]**をクリックします。

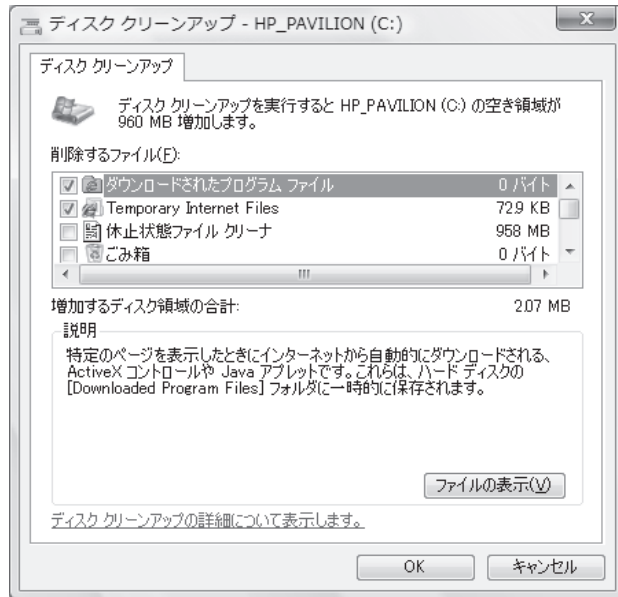
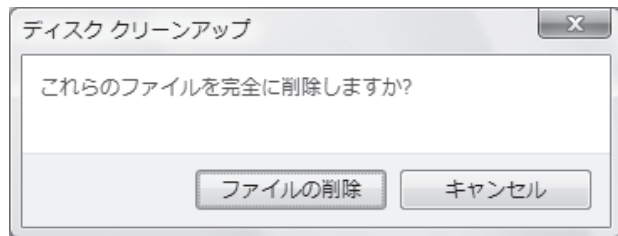
5 スタートアップ時に実行されないようにするプログラムを選択して、**[無効にする]**をクリックします。

ディスク クリーンアップ プログラムの実行

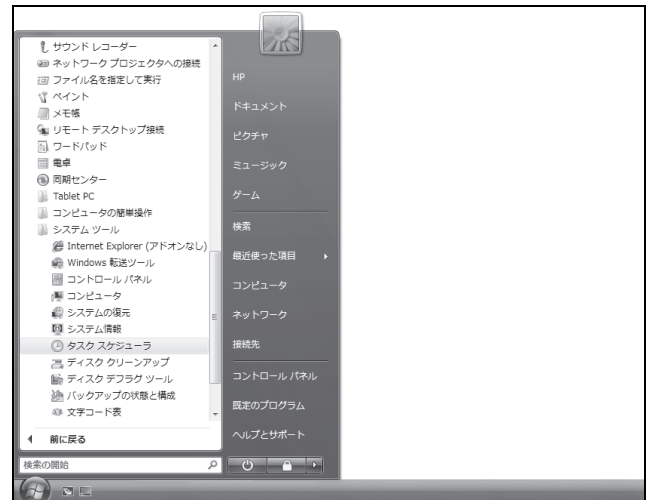
ディスク クリーンアップ プログラムにより、一時ファイルや使用されていないファイル（インターネット一時ファイル、ごみ箱内のファイルなど）が削除され、ハードドライブの領域が解放されます。ディスク クリーンアップは、手動で実行することも、自動で実行されるように設定することもできます。

手動でのディスク クリーンアップの実行

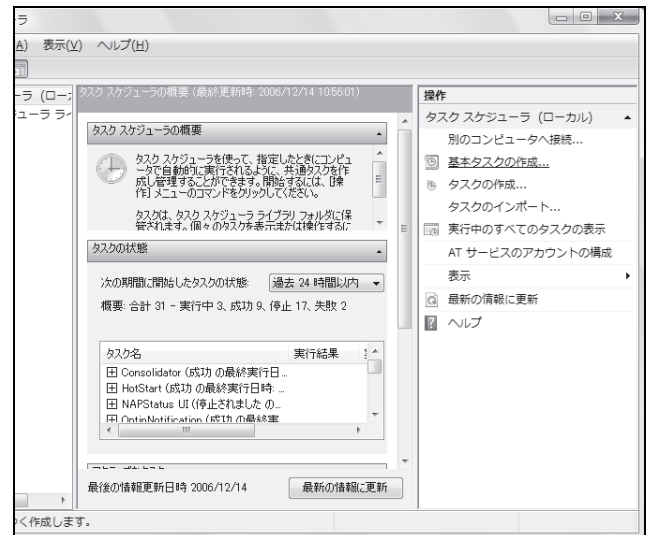
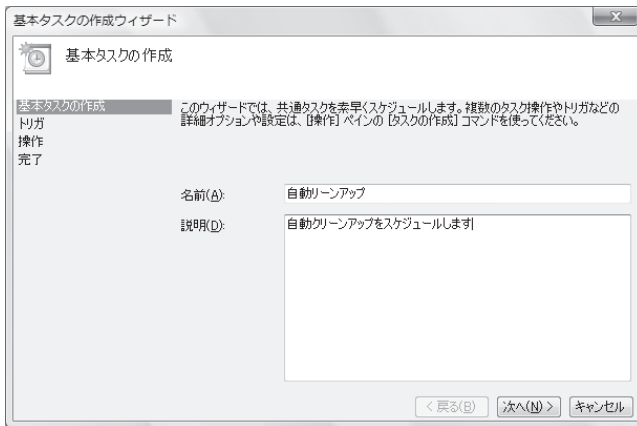
1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順にクリックします。

2 クリーンアップを行うファイルを選択します。

3 ドライブを選択し、**[OK]**をクリックします。

ディスク クリーンアップにより、削除するファイルが検索され、どれだけのディスク領域を確保できるかが計算されます。

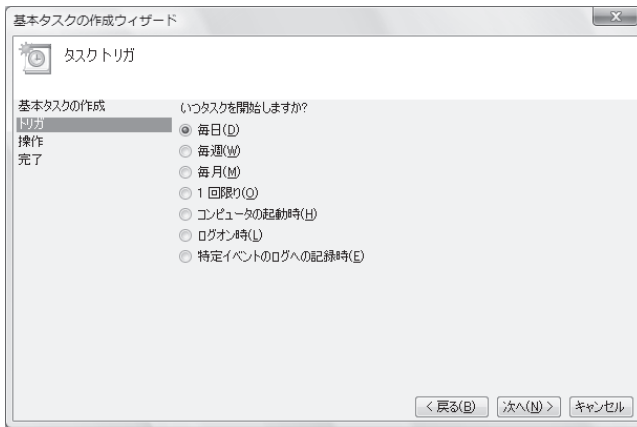
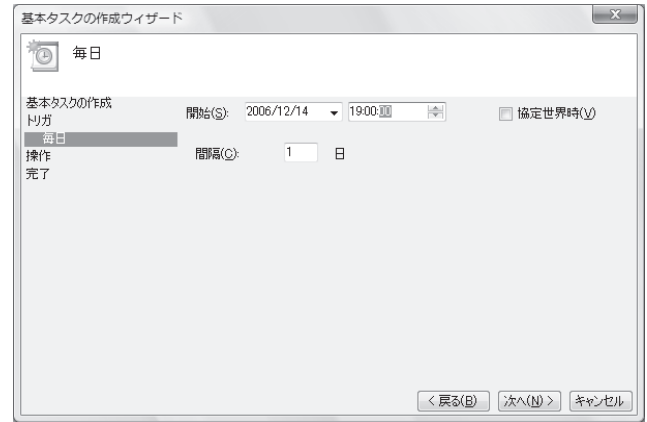
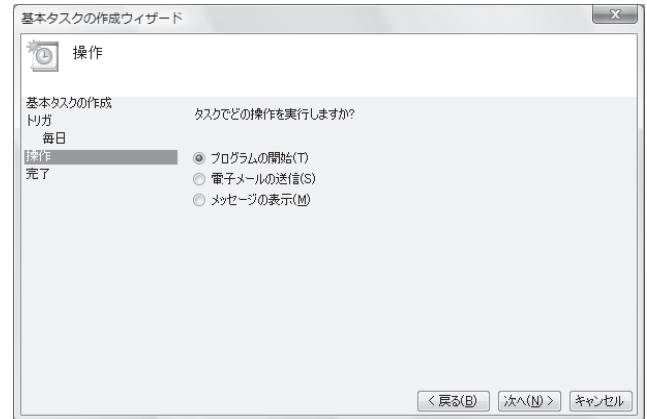
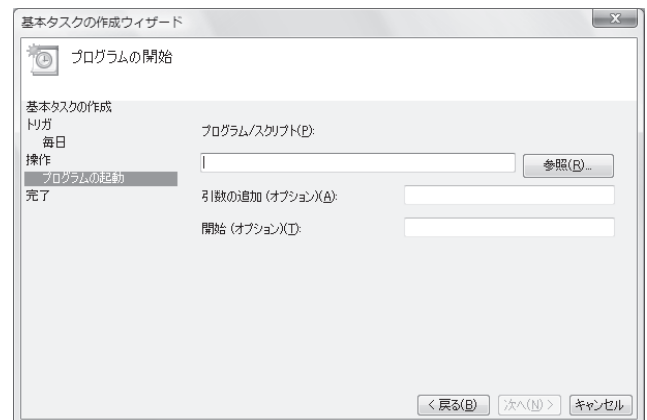
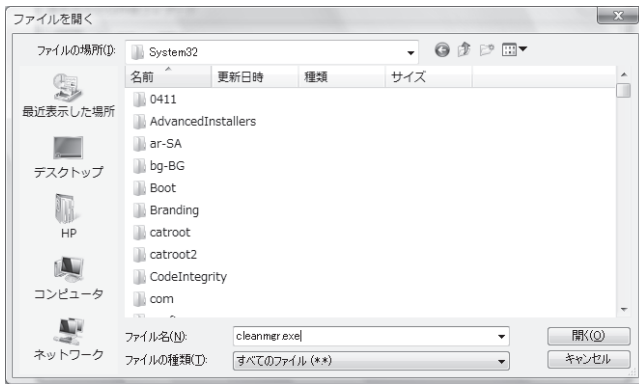
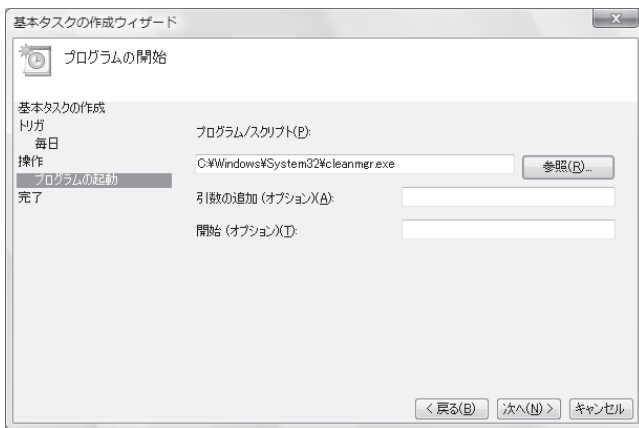
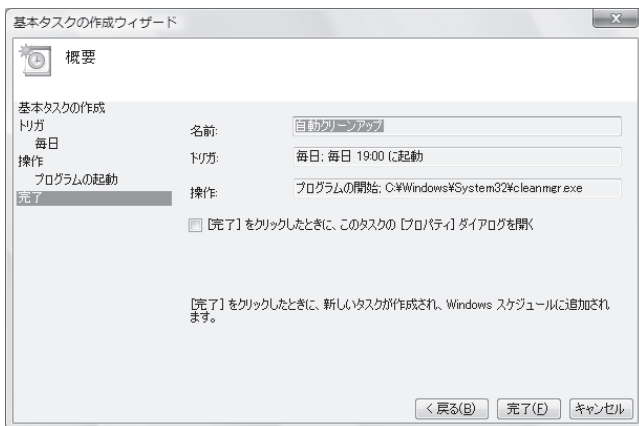
4 削除するファイル タイプのチェック ボックスにチェックを入れます。

5 **[OK]**をクリックして**[ファイルの削除]**をクリックします。

選択したファイルの削除が完了します。

自動ディスク クリーンアップのスケジュール設定

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[タスク スケジューラ]**の順にクリックします。

［ユーザーアカウント制御］が表示されます。

2 **[続行]**をクリックします。

3 [操作]で**[基本タスクの作成]**をクリックします。

4 タスクの名前および説明（オプション）を入力します。

5 **[次へ]**を2回クリックします。

6 ディスク クリーンアップを実行するタイミングを選択し、**[次へ]**をクリックします。

7 ディスク クリーンアップを実行する時刻を選択し、**[次へ]**をクリックします。ディスク クリーンアップには時間がかかる場合があるため、コンピュータが起動しており、使用されていないタイミングを選択してください。

8 **[プログラムの開始]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。

9 [プログラム/スクリプト]で、**[参照]**をクリックします。

10 「**cleanmgr.exe**」と入力し、**[開く]**をクリックします。

11 **[次へ]**をクリックします。

12 設定したスケジュールの概要を確認し、**[完了]**をクリックします。

設定したタイミングで、ディスク クリーンアップが実行されます。

ディスク デフラグ プログラムの実行

Microsoft® Windows Vista®オペレーティング システムによりハードドライブ上にファイルが格納される時、ドライブ上の使用可能領域に収まるように、ファイルが複数の断片(フラグメント)に分割されます。断片化されたファイルを開こうとすると、複数の場所から情報を取得する必要があるため、処理に時間がかかります。

ディスク デフラグ プログラムは、ハードドライブ上の断片化されたファイルをグループ化し、コンピュータのパフォーマンスを高めます。このプログラムを実行しても、コンピュータ上のファイルやフォルダの場所には影響はありません。

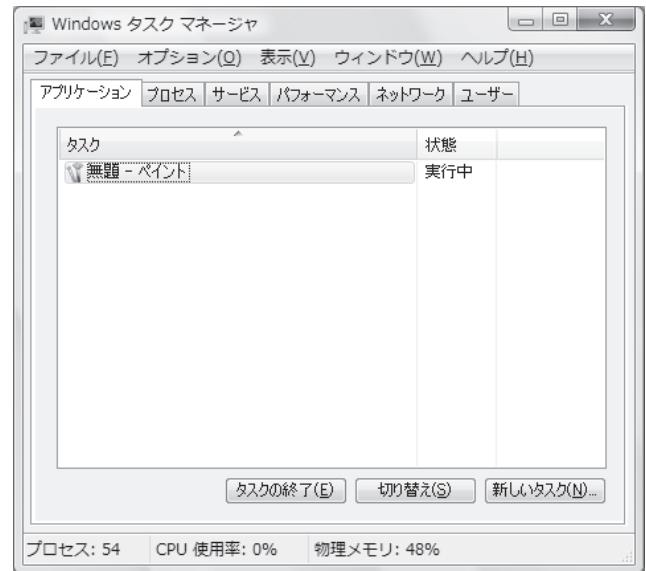
注: ディスク デフラグ プログラムは、完了するまでに時間がかかる場合があります。夜間に、無人で実行することもできます。

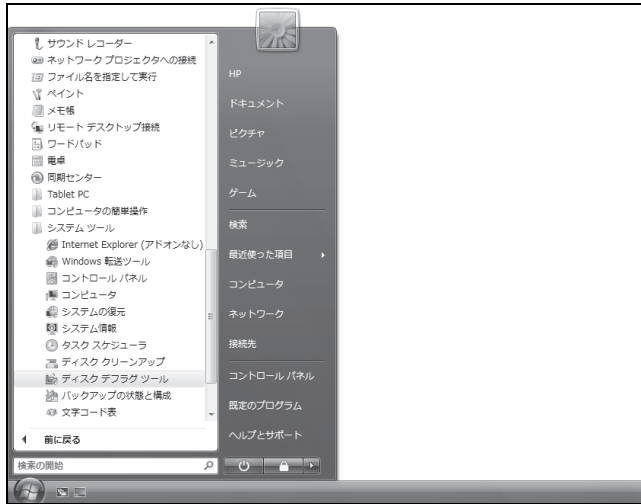
---

1 作業中のファイルを保存して、すべてのプログラムを閉じます。

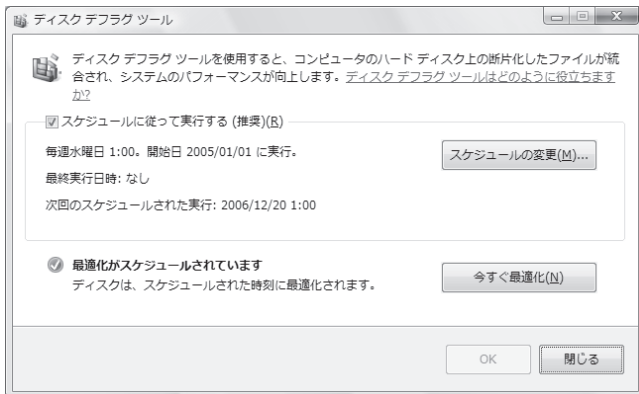
2 [Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します。

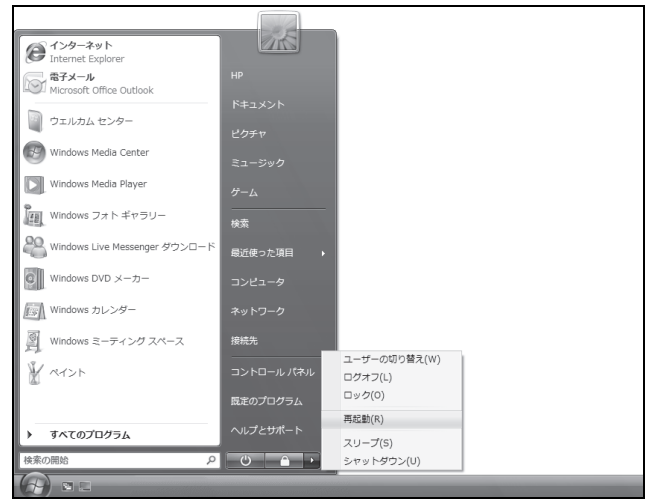
3 **[タスク マネージャの起動]**をクリックします。

4 [アプリケーション]タブで、表示されているすべてのプログラムを選択し、**[タスクの終了]**をクリックします。

5 [タスク マネージャ]を閉じます。

6 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ ツール]**の順にクリックします。

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

7 **[続行]**をクリックします。

8 **[今すぐ最適化]**をクリックします。

ディスク デフラグ ツールが繰り返し起動される場合は、見えないプログラムがバックグラウンドでハードドライブにアクセスし続けています。コンピュータをセーフ モードで再起動し、ディスク デフラグ プログラムを再度実行してください。

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[再起動]**の順にクリックします。

2 最初のロゴ画面が表示されたら、すぐに[F8]キーを押します。

3 [Windows拡張オプション メニュー]で、矢印キーを使用して**[セーフ モード]**を選択し、[Enter]キーを押します。

4 もう一度[Enter]キーを押し、オペレーティング システムを選択します。

5 Windowsにログオンします。[デスクトップ]メッセージが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

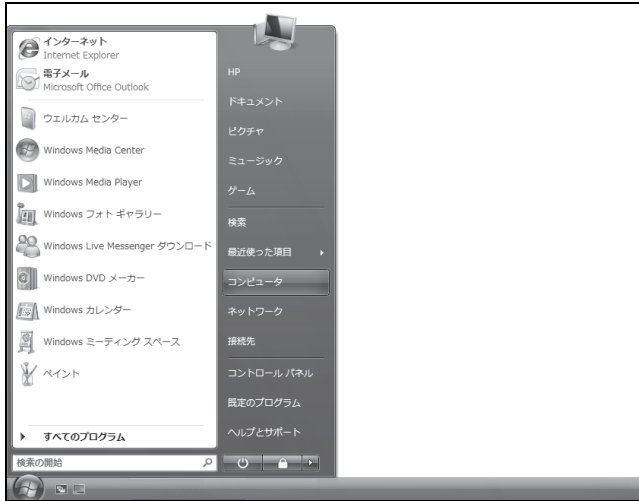
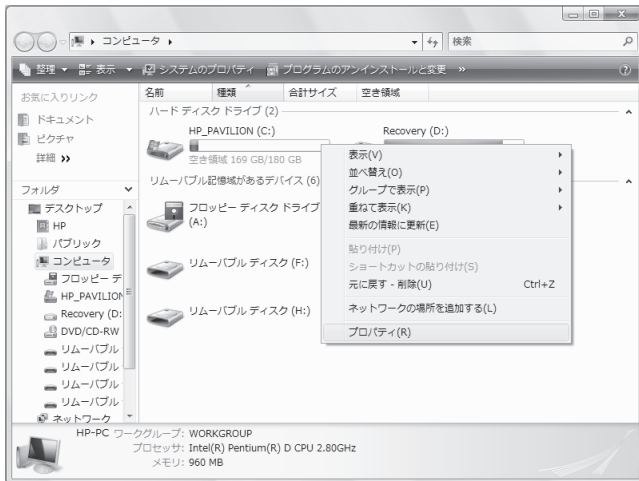
セーフ モードが続行します。

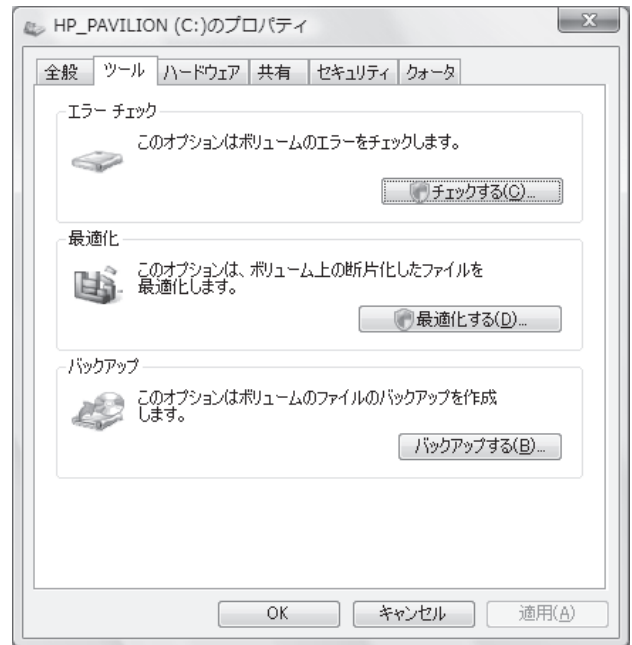
6 Windows Vistaが起動したら、前述の手順でディスク デフラグ プログラムを実行します。

7 セーフ モードを終了するには、手順1を再度実行します。

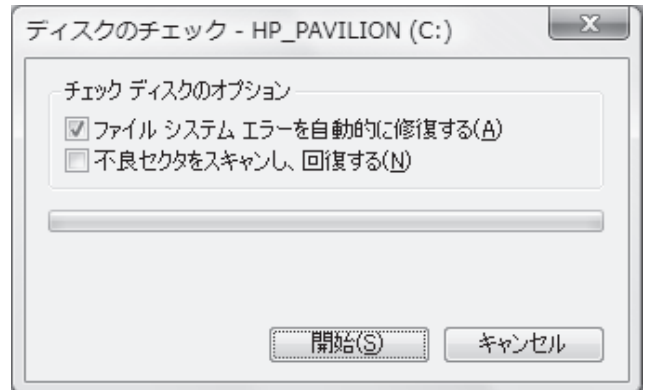
ハードドライブ エラーのチェック

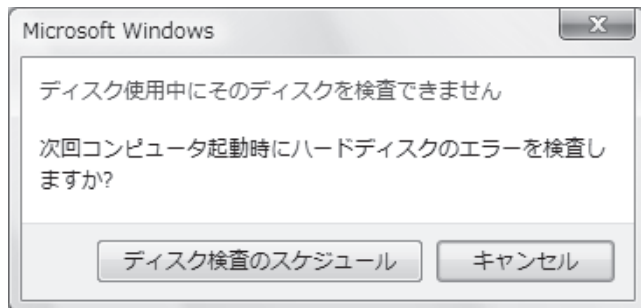
Windows Vistaでハードドライブの整合性をチェックするには、以下の手順で操作します。ディスクのチェックを開始する前に、すべてのプログラムを閉じてください。

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[コンピュータ]**の順にクリックします。

2 チェックするハードドライブを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

3 **[ツール]**タブをクリックします。

4 [エラー チェック]で**[チェックする]**をクリックします。

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

5 **[続行]**をクリックします。

6 必要な場合は、**[ファイル システム エラーを自動的に修復する]**および**[不良セクタをスキャンし、回復する]**のチェック ボックスにチェックを入れます。

7 **[開始]**をクリックします。コンピュータを再起動するよう求めるメッセージが表示された場合は、**[はい]**をクリックします。

8 **[ディスク検査のスケジュール]**をクリックします。

次回コンピュータ起動時に、ハードドライブのエラーが検査されます。

ハードドライブ領域について

Windows Vistaオペレーティング システムがあらかじめインストールされたHPコンピュータでは、搭載されているハードドライブの大きさが、説明書または箱に記載された製品仕様の数字よりも小さいように思われる場合があります。製造販売元は、ハードドライブをデシマル(10進法)で記載および公示しています。一方、Windows VistaやFDISKなどのその他のプログラムは、バイナリ(2進法)を使用します。

10進法表記では、1メガバイト(MB)は1,000,000バイトで、1ギガバイト(GB)は1,000,000,000バイトです。2進法表記では、1メガバイト(MB)は1,048,576バイトで、1ギガバイト(GB)は1,073,741,824バイトです。測定システムの違いにより、Windows Vistaによって表示されるサイズと公示されているサイズとに差異が生じる場合があります。ハードドライブの記憶領域は、公示されているとおりです。

Windowsエクスプローラ ツールおよび[コンピュータ]ウィンドウでは、容量がこれより小さく表示されます。これは、ハードドライブ上のパーティションごとの情報が表示されるためです。パーティションの1つには、システムの復元に関する情報が格納されています。

埃や汚れからのコンピュータの保護

お使いのコンピュータ システムを埃や汚れから守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを1か月に1回確認し、3か月に1回程度クリーニングしてください。

コンピュータおよびモニタのクリーニング

1 電源コンセントからコンピュータのプラグを抜き取ります。

2 電源コンセントからモニタのプラグを抜き取ります。

3 乾いた清潔な布で、コンピュータの表面およびモニタの埃を取り除きます。

4 温かい水で軽く湿らせた清潔な布で、コンピュータの表面およびモニタの汚れを拭き取ります。

モニタ画面には水分を付けないでください。

注:コンピュータまたはモニタの表面にシールの粘着剤や液体が付いている場合は、毛羽立ちのない布にイソプロピル アルコールまたは消毒用アルコールを付けて拭き取ります。

5 乾いた清潔な布で、コンピュータおよびモニタの表面の水分を拭き取ります。

6 乾いた清潔な布でモニタ画面をクリーニングします。よりしっかりとクリーニングする場合は、静電気防止効果のあるスクリーン クリーナを清潔な布に付けて使用します。

通気孔のクリーニング

通気孔によりコンピュータおよびモニタが冷却されます。十分な通気を確保するため、電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください。(電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます。)

1 コンピュータおよびモニタ表面の通気孔に掃除機をかけます。

2 コンピュータのコネクタ(USBコネクタ、イーサネット コネクタなど)の内部および周囲に付着したごみを取り除きます。

キーボードおよびマウスのクリーニング

キーボードのキーをクリーニングする時は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください。

1 キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます。
2 乾いた清潔な布にイソプロピル アルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします。
3 洗剤で軽く湿らせた布で、マウスの本体およびコードを拭きます。

ボール式マウスを使用している場合は、内部のボールおよびローラーを以下の手順でクリーニングします。

1 マウスを裏返します。
2 ボールのカバーを反時計回りに回転させて、カバーを取り外し、ボールを取り出します。
3 ボールを洗剤で洗い、温水で洗い流します。
4 イソプロピル アルコールで軽く湿らせた綿棒で、マウス内部のローラーをクリーニングします。
5 ボールおよびローラーが完全に乾いたら、ボールおよびカバーを取り付けなおします。

BIOSのアップデートについての注意

弊社のダウンロード ページに掲載されているBIOSアップデート用ソフトウェア（ROMPaq、WinFlash、HPQFlash等）は、他のドライバやユーティリティなどのソフトウェアとは異なり、コンピュータ内部の基本プログラムを書き換えるユーティリティ ソフトウェアです。

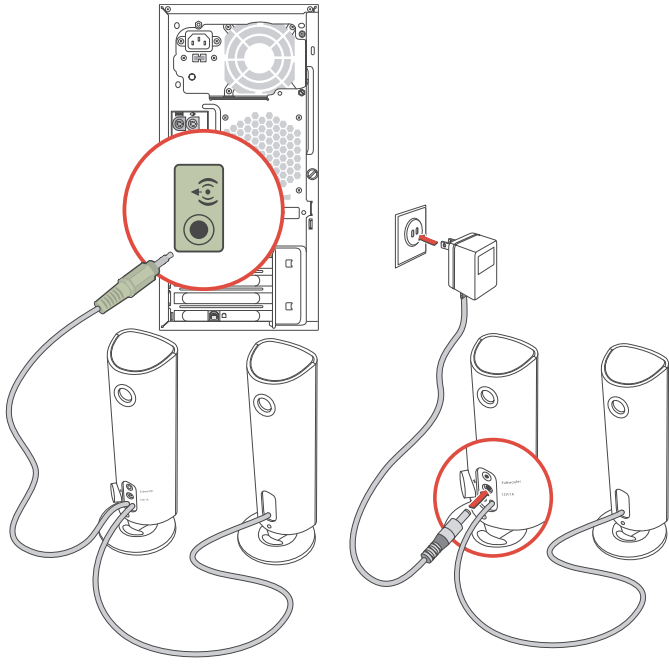
BIOSをアップグレードすることにより、機能や性能が向上したり、不具合が修正されることがありますが、誤った手順で実行すると書き換えに失敗し、コンピュータが破損する可能性があります。

この場合は修理が必要になりますが、BIOSアップデートの失敗による破損は無償保証期間内であっても有償修理となりますので、慎重に行ってください。

1 BIOSアップグレード中は、コンピュータの電源を絶対に切らないでください。故障の原因になる場合があります。
2 BIOSを正常にアップデートできなかった場合、マザーボードの交換が必要となることもあります。事前にご自身のデータをバックアップしてください。

これらの注意事項に反してBIOSをアップデートした場合に生じる故障、その他損害については、お客様の自己責任となりますのでご了承ください。

コンピュータに関するトラブルの解決方法

トラブルシューティングの表は、以下の順に記載されています。

- オーディオ
- CDドライブおよびDVDドライブ
- ビデオ
- ディスプレイ（モニタ）
- ハードドライブ
- ハードウェアの取り付け
- インターネット アクセス
- キーボードおよびマウス
- 電源
- パフォーマンス
- Bluetooth無線デバイス
- その他

モニタのトラブル、またはお使いのプリンタ固有のトラブルについて詳しくは、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。

オーディオ

トラブル	解決方法
音が出ない	キーボードのミュート ボタンを押して、ミュート（消音）機能が有効になっているかどうかを確認します または **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします **2** **[ハードウェアとサウンド]→[システム音量の調整]**の順にクリックします **3** プログラムが消音されている場合は、**[ミュート]**ボタンをクリックして音量を元に戻します
	モニタの内蔵スピーカを使用している場合は、モニタのフロント パネルの音量ボタンを使用して音量を調節します。フロント パネルのボタンを使用してオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを表示し、オーディオが有効になっていることと、音量が適切に設定されていることを確認します
	タスク バーの**[音量]**アイコン（ ）をクリックするか、キーボードのボタン類を使用して音量を上げます
	電力が供給されている（アクティブな）スピーカの電源が入っていることを確認します
	コンピュータの電源を切り、スピーカを接続しなおします。スピーカがライン入力コネクタやヘッドフォン コネクタではなく、オーディオ コネクタに接続されていることを確認します
	スリープ ボタン（一部のモデルのみ）、またはキーボードの[Esc]キーを押して、スリープ モードから復帰します
	ヘッドフォンがコンピュータに接続されている場合は、取り外します

オーディオ(続き)

トラブル	解決方法
特定のオーディオ ファイルを再生すると、コーデックに関するエラー メッセージが表示される	Windows Media Playerでファイルを開きます。Windows Media Playerがコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します ● 適切なコーデックを入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデック ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります ● 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Playerの更新が利用可能かどうかを確認します 詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを開き、「コーデック」を検索してください
音量が異常に小さい、または十分でない	電源供給機能のないスピーカ(専用の電源コードがないスピーカ)を使用すると十分な音量が出ません。電源供給機能のないスピーカを、電源供給機能付きのスピーカに交換します。電源供給機能付きのスピーカには電源コードおよび電源ボタンがあり、コンピュータ背面のオーディオ出力(緑色)コネクタに接続します

CDドライブおよびDVDドライブ

トラブル	解決方法
CDドライブまたはDVDドライブがディスクを読み込まない、または起動に時間がかかる	ディスクが、ラベルの面を上にしてトレイの中心に置かれていることを確認します
	ドライブがメディアの種類を判断するまで、少なくとも30秒待ちます
	ディスク クリーニング キットを使用してディスクをクリーニングします。このキットは、一般のコンピュータ製品販売店で入手できます
	ドライバが破損しているか、古くなっている可能性があります。ドライバの復元または更新について詳しくは、41ページの「ドライバの更新」を参照してください
CDまたはDVDを取り出せない	コンピュータの電源を入れ、ドライブの近くにあるイジェクト ボタンを押して、トレイを開きます イジェクト ボタンそのものに問題がある可能性がある場合は、以下の手順で操作します **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[コンピュータ]**の順にクリックします **2** 開きたいCDドライブまたはDVDドライブを右クリックします **3** メニューから**[取り出し]**を選択します
8 cmディスクがコンピュータ内で下に落ちる	スリム型コンピュータでは、CD/DVDドライブが縦向きに搭載されています。標準サイズのCDやDVDは縦向きの状態でドライブに挿入できますが、8 cmディスクを使用する場合は、まずコンピュータを横向きにしてからディスクを挿入する必要があります **1** コンピュータの前面を手前に向け、右側面を下にして置きます **2** CD/DVDドライブの取り出しボタンを押してトレイを開きます **3** 8 cmディスクをトレイ内のくぼみに置き、取り出しボタンを再度押してトレイを閉じます
ディスクを作成（記録）できない	ディスクが、ラベルの面を上にしてトレイの中心に置かれていることを確認します
	ドライブに対応した種類のディスク（メディア）を使用していることを確認します。別の製造販売元のディスクを試してみます
	清潔で、破損していないディスクを使用します。書き込みセッション中に書き込みが停止した場合、ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを使用してください
	書き込みをするファイルの種類に対応しているディスクを使用します
	CD-Rディスクを使用する時は、音楽を書き込む場合はディスクが空であること、またデータを書き込む場合は、ディスクが空または付加可能（データ ファイルを追加する領域がある）であることを確認します
	ディスクのコピーを作成する場合は、適切な種類のディスクを使用していることを確認します。書き込みプログラムによっては、ソースと同じ種類のディスクにしか書き込めない場合があります。たとえば、DVDを書き込めるのはDVD+R/-Rディスク または DVD+RW/-RWディスクのみ、CDを書き込めるのはCD-RディスクまたはCD-RWディスクのみです
	ディスクを適切なドライブに挿入し、CDまたはDVD書き込みソフトウェアで同じドライブが指定されていることを確認します
	可能な場合は、書き込みを実行するドライブの書き込み速度を低く設定します
	トラックのサイズがディスクの使用可能領域より大きい場合、書き込みソフトウェアを使用してトラックを追加できない場合があります。ファイルをディスクに書き込む前に、リストから1つまたは複数のトラックを削除して、領域を確保することができます
	書き込みを開始する前に、すべてのソフトウェア プログラムおよびウィンドウを閉じます

CDドライブおよびDVDドライブ（続き）

トラブル	解決方法
ディスクを作成（記録）できない（続き）	ハードドライブ上に、コンテンツの一時コピーを格納するための十分な領域があることを確認します **Windows Vistaのスタート ボタン→[コンピュータ]**の順にクリックします。ハードドライブを右クリックし、**[プロパティ]**を選択して使用可能な領域を表示します
	ネットワーク上で作業している場合は、まずネットワークからハードドライブにファイルをコピーして、その後でディスクに書き込みます
	すべてのプログラムおよびウィンドウを閉じ、コンピュータを再起動します
DVDにデータを追加できない	DVD作成ソフトウェアで適切なオプション（データ ファイルの付加または追加）を設定していることを確認します
CDの音楽トラックのタイトルが表示されない	音楽CDを再生する場合、アーティスト、タイトル、およびトラック情報を表示するには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。この情報は、ディスクには書き込まれません
	CDによっては、トラック情報を入手できない場合があります
ビデオをキャプチャした時に、エラー メッセージが表示される	お使いのコンピュータにアナログおよびデジタル両方のビデオ キャプチャ デバイスが装備されている場合は、どちらかを選択する必要があります。ビデオ デバイスを変更する方法を確認するには、ビデオ キャプチャ プログラムのヘルプ メニューを参照してください
家庭用のDVDプレーヤでDVDの動画を再生できない	データ ファイルとしてDVDに書き込まれたビデオ ファイルは、DVDプレーヤでは再生できません。映像を適切に再生できるようにするには、ビデオ書き込みプログラムを使用します。ビデオ ファイルによっては、コンピュータで再生できても、家庭用のDVDビデオ プレーヤでは再生できない場合があります

ビデオ

トラブル	解決方法
再生されないビデオ ファイルがある	ファイルが破損しているか、形式がサポートされていない可能性があります。ファイルをビデオ エディタで開いてから、サポートされている形式でファイルを保存しなおします
特定のビデオ ファイルを再生すると、コーデックに関するエラー メッセージが表示される	Windows Media Playerでファイルを開きます。Windows Media Playerがコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します • 適切なコーデックが入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデック ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります • 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Playerの更新が利用可能かどうかを確認します 詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを開き、「コーデック」を検索してください
[ビデオの再生に必要なファイルが見つからないか、壊れています]というエラー メッセージが表示される	**1** **Windows Vistaのスタート ボタン**をクリックし、**[コンピュータ]**を右クリックして、**[プロパティ]**を選択します **2** **[タスク]**で**[デバイス マネージャ]**をクリックします **3** **[サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ]**の隣のプラス記号（**+**）をクリックします **4** **TVチューナ**の項目（一部のモデルのみ）を右クリックし、**[ドライバ ソフトウェアの更新]**をクリックします **5** **[自動的に更新されたドライバ ソフトウェアを検索します]**を選択します **6** 説明に沿って操作して、ドライバを更新します **7** 要求された場合は、コンピュータを再起動します

ディスプレイ(モニタ)

ここに示されている情報の他に、お使いのモニタに付属の説明書も参照してください。

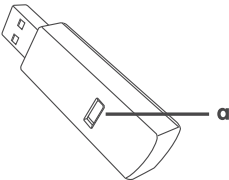
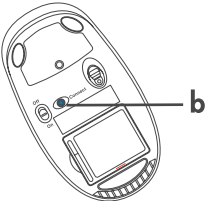
トラブル	解決方法
画面に何も表示されず、モニタの電源ランプが点灯しない	モニタ背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします
	モニタの前面にある電源ボタンを押します
画面に何も表示されない	キーボードのスペース キーを押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします
	スリープ ボタン(一部のモデルのみ)またはキーボードの[Esc]キーを押して、スリープ モードから復帰します
	電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れます
	モニタのビデオ コネクタに曲がっているピンがないかどうかをチェックします • 曲がっているピンがある場合は、モニタ コネクタ ケーブルを交換します • 曲がっているピンがない場合は、モニタ コネクタ ケーブルをコンピュータに接続しなおします
画面上の画像が大きすぎる/小さすぎる、またはぼやけている	Windows Vistaでモニタの解像度設定を調整します **1** デスクトップを右クリックして**[個人設定]**をクリックします **2** **[ディスプレイの設定]**をクリックします **3** 解像度のスライダを調整します

ハードドライブ

トラブル	解決方法
コンピュータがロックされ応答していないように見える	Windowsの[タスク マネージャ]で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します **1** キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します **2** **[タスク マネージャの起動]**をクリックします **3** 応答していないプログラムを選択して**[タスクの終了]**をクリックします プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピュータを再起動します **1** キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します **2** **シャットダウン** ボタンの隣の矢印→**[再起動]**の順にクリックします または **1** 電源ボタンを5秒以上押したままにして、コンピュータの電源を切ります **2** 電源ボタンを押してコンピュータを起動します
ハードドライブのエラー メッセージが表示される	キーボードのヘルプ(?)ボタンを押して[Windowsヘルプとサポート]を開くか、4ページの「困ったときは」を参照してサポート窓口に問い合わせます

ハードウェアの取り付け

トラブル	解決方法
新しいデバイスが、システムの一部として認識されない	デバイスに付属のCDからデバイス ドライバをインストールするか、デバイスの製造販売元のWebサイトからドライバをダウンロードおよびインストールします Windows Vista用に更新されたドライバが必要な場合があります。更新についてはデバイスの製造販売元に直接お問い合わせください HPの周辺機器については、HPのWebサイトをご覧ください。詳しくは、4ページの「困ったときは」を参照してください
	すべてのケーブルがしっかりと適切に接続されており、ケーブルのピンが曲がっていないことを確認します
	コンピュータの電源を切り、外付けデバイスの電源を入れてからコンピュータの電源を入れることで、デバイスをコンピュータに認識させます
	コンピュータを再起動し、説明に沿って操作してデバイスを認識させます
	オペレーティング システムでカードの自動設定を無効にし、リソースの競合を引き起こさない基本的な構成を選択します デバイスを再構成するか、または無効にしてリソースの競合を解決することもできます
新しいデバイスが動作しない	デバイス ドライバをインストールまたはアンインストールするには、管理者権限のあるアカウントでログインする必要があります。ユーザを切り替える必要がある場合は、**Windows Vistaのスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[ユーザーの切り替え]**の順にクリックします。管理者権限を持つユーザを選択します
新しいデバイスを取り付けたら、デバイスが動作しなくなった	デバイスの競合を解消するには、デバイスのどれかを無効にするか、または古いデバイス ドライバをアンインストールする必要が生じることがあります **1** **Windows Vistaのスタート ボタン**をクリックし、**[コンピュータ]**を右クリックして**[プロパティ]**を選択します **2** **[タスク]**で**[デバイス マネージャ]**をクリックします **3** トラブルが発生しているデバイスの隣のプラス記号（**+**）をクリックし、デバイスのアイコンの近くに黄色い円で囲まれた感嘆符があるかどうかを確認します。感嘆符は、デバイスの競合が発生しているか、またはデバイスで問題が発生していることを示します。感嘆符は、デバイスが正常に動作していない時でも、表示されない場合があります **4** ハードウェア デバイスを取り外してあるが、デバイス ドライバが[デバイス マネージャ]に表示されている場合、これがデバイスの競合の原因となっている可能性があります。古いドライバをアンインストールして、新しいデバイス ドライバを正常に動作させるには、デバイスを右クリックして**[アンインストール]→[OK]**の順にクリックします **5** デバイスの名前をダブルクリックして**[プロパティ]**を選択します **6** **[リソース]**タブをクリックし、デバイスの競合があることを確認します **7** **[全般]**タブをクリックし、デバイスが有効で正常に動作しているかどうかを確認します。[トラブルシューティング]ボタンが表示されている場合はクリックし、[device troubleshooter wizard]（デバイスのトラブルシューティング ウィザード）で画面の説明に沿って操作します **8** コンピュータを再起動します。**Windows Vistaのスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[再起動]**の順にクリックします

インターネット アクセス

トラブル	解決方法
インターネットに接続できない	インターネット設定を確認するか、またはご利用のインタネット サービス プロバイダ（ISP）に問い合わせます
	ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピュータには、モデムおよびEthernetネットワーク アダプタ（ネットワーク インタフェース カードまたはNIC（LANボード）とも呼ばれる）が搭載されている場合があります。モデムは、標準の電話回線を使用してダイヤルアップ接続を行います。NICはネットワーク ケーブルを使用してローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続されます。電話回線をNICに接続しないでください。また、ネットワーク ケーブルを電話線に接続しないでください。接続すると、NICが破損する可能性があります インターネット接続について詳しくは、キーボードのヘルプ（?）ボタンを押して[Windowsヘルプとサポート]を開いてください
	Webブラウザがインストールされ、ご利用のISPに合わせた設定になっていることを確認します
	無線ネットワークの接続ウィザードを実行します **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[ネットワーク]**の順にクリックします **2** [ネットワーク]ウィンドウで**[ネットワークと共有センター]**をクリックします **3** [ネットワークと共有センター]ウィンドウで、**[接続またはネットワークのセットアップ]**をクリックしてウィザードを開きます **4** 画面の説明に沿って操作します
	お使いのシステムにアンテナが外付けされている場合は、アンテナを動かしてみます。アンテナが内蔵されている場合は、コンピュータ本体を動かしてみます
	後でもう一度接続してみるか、またはご利用のISPに問い合わせます
インターネット プログラムを自動的に起動できない	ご利用のISPにログインしてから、必要なプログラムを起動してみます
Webページの読み込みが遅い	適切なモデム速度およびCOMポートが選択されていることを確認します **1** Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします **2** **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします **3** **[電話とモデムのオプション]**をダブルクリックします **4** **[モデム]**タブ→**[プロパティ]**ボタンの順にクリックします **5** [デバイスの状態]領域で、モデムが正常に動作していることを確認します Webページは、コンピュータに格納されているファイルほど速く読み込まれない場合があります。また、Webサイトへのアクセスが集中した場合にも、Webページの読み込みは遅くなります

インターネット アクセス（続き）

トラブル	解決方法
インターネット ブラウザのホームページが別のページに変わってしまった	お使いのコンピュータにスパイウェアが侵入している可能性があります。スパイウェアは通常、コンピュータのバックグラウンドで実行され、ユーザやコンピュータの使用に関する情報を収集し、インターネット上の他の人物またはシステムに送信します スパイウェアは、Windows Defenderなどのさまざまなスパイウェア対策ソフトウェア プログラムのうちのどれかを使用して、検出および削除できます Windows Defenderを使用してスパイウェアをスキャンするには、以下の手順で操作します **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[Windows Defender]**の順にクリックします **2** **[スキャン]**をクリックします よく知られているウィルス対策プログの多くにも、コンピュータからスパイウェアをスキャンし、削除するツールが含まれています コンピュータへのスパイウェアの侵入を防ぐために、以下の点に注意してください ● 信頼できる企業のプログラムであるかどうかを確認できない場合は、インストールしないでください。企業のWebサイトで、プログラムに何が付属しているかをよく確認してください ● ダウンロード ウィンドウで、コンピュータへプログラムをインストールするか確認された時に、すぐに**[はい]**をクリックしないようにしてください。ウィンドウに表示されたメッセージを読み、本当に必要なソフトウェア プログラムであることを確認してください
インターネットに接続した時に、コンピュータに不要なポップアップ広告が表示される	これは通常、アドウェアまたは広告ソフトウェアによって引き起こされます ポップアップをブロックするようにWebブラウザを設定できます。たとえば、Internet Explorerでは**[ツール]→[ポップアップ ブロック]**の順にクリックします コンピュータからアドウェアを削除するには、一部のモデルのコンピュータに搭載されているスパイウェア/アドウェア対策プログラムを使用するか、アドウェア プログラムを削除できるその他のソフトウェア プログラムを使用します よく知られているウィルス対策プログラムの多くにも、コンピュータからアドウェアをスキャンし、削除するツールが含まれています

キーボードおよびマウス

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピュータに認識されない	マウスを使用してコンピュータの電源を切り、キーボードをコンピュータの背面に接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます
キーボードの印刷ボタンが機能しない	プログラムの[印刷]メニュー項目(通常は[ファイル]メニューにあります)を使用します
ワイヤレス キーボードやマウスが動作しない、または検出されない	以下のことを確認します ● キーボードおよびマウスがレシーバの受信範囲内にあることを確認します ● キーボードおよびマウスの電池を交換します デバイスを裏返し、バッテリ カバーを取り外して古い電池を取り出し、新しいアルカリ電池を挿入します。充電式電池は使用しないでください ● マウスがサスペンド モードに入っていないことを確認します。サスペンド モードは、20分間操作が行われないと実行されます。マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをクリックします キーボードおよびマウスとレシーバとを再同期します **1** コンピュータのUSBコネクタにレシーバを接続します 可能な場合は、コンピュータ前面のUSBコネクタを使用します **2** ランプが青色で点滅し始めるまで、レシーバのConnect(接続)ボタン(**a**、ランプとしても機能します)を5～10秒程度押したままにします **3** マウスの裏面のスイッチがOnになっていることを確認し、レシーバの青色のランプが点滅しなくなるまで、Connectボタン(**b**)を押したままにします **注**:レシーバの接続セッションは60秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバ方言うアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして反応を見ます

キーボードおよびマウス（続き）

トラブル	解決方法
	マウスの接続が確立されたら、キーボードの接続を確立します **1** ランプが青色で点滅し始めるまで、レシーバのConnectボタンを5～10秒程度押したままにします **2** レシーバの青色のランプが点滅しなくなるまで、キーボードの裏面のConnectボタン（**c**）を押したままにします 詳しくは、キーボードおよびマウスに付属の説明書を参照してください
有線マウスが動作しない、または検出されない	マウス ケーブルをコンピュータから抜き、接続しなおします
	それでもマウスが検出されない場合は、コンピュータの電源を切り、マウス ケーブルを接続しなおしてから、コンピュータを起動しなおします
カーソルがマウスの動きに反応しない	キーボードを使用してコンピュータを再起動します **1** キーボードの[Alt]および[Tab]キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します **2** キーボードの[Ctrl]および[S]キーを同時に押し、表示されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、[Ctrl]＋[S]は、保存を行うためのキーボード ショートカットです） **3** 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、キーボードの[Ctrl]および[Esc]キーを同時に押して、Windowsの[スタート]メニューを表示します **4** 矢印キーを使用して**ロック ボタンの隣の矢印ボタン**を選択します。**[シャットダウン]**を選択してキーボードの[Enter]キーを押します **5** シャットダウンが完了したら、マウス コネクタをコンピュータの背面に接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます
マウスの動きに対するカーソルの反応が遅い	ボール式マウスを使用している場合は、マウス パッドまたは表面が粗いものをマウスの下に敷きます。オプティカル マウスを使用している場合は、反射の少ない面にマウスを置きます
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	[Num Lock]キーを押します。テンキーの矢印キーを使用する場合は、[Num Lock]ランプが消えている状態にします
カーソルが垂直方向または水平方向にしか移動しない（または画面上を滑らかに移動しない）	マウスの底面からボール カバーを反時計回りに回転させて取り外し、ボールを取り出して、軽く湿らせた毛羽立たない柔らかい布でクリーニングします（紙は使わないでください）。ボールが動く時に接するローラーもクリーニングします
オプティカル マウスでカーソルをうまく動かせない	マウスをマウス パッドまたは白い紙の上に置くか、マウス底面の光センサのレンズを、毛羽立たない柔らかい布で軽く拭きます（紙は使わないでください）
カーソルの動きが速すぎる、または遅すぎる	カーソルの速度を調節します **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]**の順にクリックします **2** **[ポインタ オプション]**タブをクリックします **3** モーション スライダを**[遅く]**または**[速く]**の方向に動かして、カーソルがマウスの動きに反応する速度を上げるか下げます **4** **[OK]**をクリックします

電源

トラブル	解決方法
コンピュータの電源が入らない、または起動しない	コンピュータを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します
	コンピュータを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピュータ背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、4ページの「困ったときは」を参照してサポート窓口にお問い合わせください
	ディスプレイ(モニタ)に何も表示されない場合は、モニタが正しく接続されていない可能性があります。モニタ コネクタをコンピュータに接続してしっかりと差し込み、電源を入れます。30ページのディスプレイ(モニタ)のトラブルシューティングの項目を参照してください
	線間電圧の選択スイッチを、お住まいの国/地域に合わせて適切に設定します。または、4ページの「困ったときは」を参照してサポート窓口にお問い合わせください
	電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします
	対応していないメモリ(RAM)が取り付けられている可能性があります。古いメモリに交換することで、コンピュータを元の状態に戻します。手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください
	ハードドライブのデータ ケーブルと電源ケーブルを接続しなおします。手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください
無効なシステム ディスク、非システム ディスク、またはディスク エラーに関するメッセージが表示される	ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードのスペース キーを押します。これで、コンピュータが起動します
電源ボタンを押してもコンピュータの電源が切れない	コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします
コンピュータが自動的にシャットダウンする	コンピュータが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピュータを冷却します コンピュータの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。コンピュータによっては、内部ファンがない場合もあります
コンピュータの日付および時刻表示が間違っている	リアルタイム クロック(RTC)のバッテリを交換する必要があります。バッテリ寿命は約7年です バッテリを交換する前に、[コントロール パネル]でオペレーティング システムの日付と時刻を設定します。問題が解決しない場合は、バッテリを交換します。手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください
コンピュータに表示されるプロセッサ速度が低い	実行中のアプリケーションが最高の処理能力を必要としていないため、プロセッサが自動的に低い速度で実行される場合に発生します

パフォーマンス

トラブル	解決方法
ソフトウェア プログラムおよびファイルの起動や反応に時間がかかる	コンピュータに複数のユーザ アカウントを作成してある場合は、他のユーザがログインしていないことを確認します。一度に複数のユーザがログインしている場合、システムのリソースがユーザ間で共有されます
	ディスク クリーンアップ プログラムを実行して、不要なファイル（インターネット一時ファイル、使用しないコンポーネントやプログラム、ごみ箱内のファイルなど）をハードドライブから削除します **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順にクリックします **2** クリーンアップを実行するドライブを選択します **3** 削除するファイル タイプの隣のチェック ボックスにチェックを入れます **4** **[OK]→[はい]**の順にクリックして、ファイルを完全に削除します
	ディスク デフラグ プログラムを実行して、ハードドライブ上の断片化されたファイルをグループ化し、コンピュータの処理速度を上げます。このプログラムを実行しても、コンピュータ上のファイルおよびフォルダの場所には影響はありません 注：ディスク デフラグ プログラムは、完了までに時間がかかる場合があります。夜間に実行することをおすすめします **1** 作業中のファイルを保存して、すべてのプログラムを閉じます **2** [Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します **3** **[タスク マネージャの起動]**をクリックします **4** [アプリケーション]タブで、表示されているすべてのプログラムを選択し、**[タスクの終了]**をクリックします **5** **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ ツール]**の順にクリックします **6** **[最適化する]**をクリックします
	使用していないプログラムを削除します **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします **2** **[プログラムのアンインストール]**をクリックします。[プログラムと機能]ウィンドウが開きます **3** 削除するプログラムを選択し、**[アンインストール]**をクリックします **4** 画面の説明に沿って操作します
	ハードドライブ エラーをチェックします **1** 開いているプログラムおよびウィンドウをすべて閉じます **2** **Windows Vistaのスタート ボタン→[コンピュータ]**の順にクリックします **3** チェックするハードドライブを右クリックして**[プロパティ]**をクリックします [システムのプロパティ]ウィンドウが開きます **4** **[ツール]**タブをクリックします **5** **[エラー チェック]**で**[チェックする]**をクリックします **6** 必要な場合は、**[ファイル システム エラーを自動的に修復する]**および**[不良セクタをスキャンし、回復する]**チェック ボックスにチェックを入れます **7** **[開始]**をクリックします。再起動を要求された場合は、**[はい]**をクリックします

Bluetooth無線デバイス

トラブル	解決方法
Bluetoothデバイスが機能しない	デバイスとコンピュータの距離が近すぎたり遠すぎたりせず、適切であることを確認します。適切な距離については、デバイスの説明書を参照してください
	デバイスを取り外してから取り付けなおします **1** **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします **2** **[ハードウェアとサウンド]→[Bluetoothデバイス]**の順にクリックします **3** 機能していないデバイスを選択して**[削除]**をクリックします **4** **[追加]**をクリックしてデバイスのリセット ボタンを押し、**[セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました]**チェック ボックスにチェックを入れて**[次へ]**をクリックします **5** 画面の説明に沿って操作します
	デバイスの接続が多すぎる可能性があります。デバイスの処理量が少なくなるまで待つか、他のデバイスが検出されないように設定します。検出機能を無効にする方法については、デバイスの説明書を参照してください
	無線通信を行うその他のデバイス（電子レンジ、コードレス電話、802.11無線ネットワークなど）が干渉していないことを確認します。機能しないデバイスを他のデバイスから遠ざけてみます

その他

トラブル	解決方法
[メモリ不足です]というエラー メッセージが表示される	開いているすべてのプログラムを閉じて、行っていた操作を再度実行するか、コンピュータを再起動します(**Windows Vistaのスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[再起動]**の順にクリックします)。再度メッセージが表示される場合は、メモリの購入および増設を検討してください
リモート センサが、リモート コントロールからの信号を受信しない(一部のモデルのみ)	**1** **Windows Vistaのスタート ボタン**をクリックし、**[コンピュータ]**を右クリックして**[プロパティ]**を選択します **2** **[タスク]**で**[デバイス マネージャ]**をクリックします **3** **[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]**の隣のプラス記号(**+**)をクリックします **4** [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に[eHome Infrared Receiver]が表示されている場合、Windows Vistaは赤外線レシーバを正常に検出しています。表示されていない場合は、次の手順に進みます **5** コンピュータに接続されているリモート センサのUSBケーブルを取り外し、同じUSBコネクタに接続しなおします **6** リモート センサ以外のすべてのUSBデバイスを取り外して、コンピュータを再起動します。[デバイス マネージャ]ウィンドウにリモート センサが表示されてから、その他のUSBデバイスを接続します
メモリ カード リーダ(一部のモデルのみ)が、使用しているメモリ カードを読み込めない	使用中であることを示すランプが点滅している時は、メモリ カードの挿入または取り出しは行わないでください。これを行うと、データが消失したり、カード リーダが損傷して修復できなくなったりする場合があります
	メモリ カードによっては、読み取り/書き込みスイッチまたはセキュリティ スイッチが付いています。データをカードに書き込む前に、カードのスイッチが書き込み可能に設定されていることを確認します
	保管しようとしているデータ量が、メモリ カードの記憶可能領域を超えていないことを確認します
	メモリ カードがサポートされている種類(CompactFlash(I、II、およびMicrodrive)、メモリ スティック、メモリ スティックPRO、マルチメディア カード、SecureDigital(SD)カード、SmartMediaカード、xDピクチャ カードなど)であることを確認します。一部のモデルでは、その他の種類もサポートしている場合があります
	メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します
	メモリ カードの接続部分に、穴や金属端子を塞いでいる汚れやごみがないかどうかをチェックします。軽く湿らせた、毛羽立たない柔らかい布で端子をクリーニングします。必要に応じて、メモリ カードを交換します

ソフトウェアの問題の修復

お使いのコンピュータでは、通常の動作中、オペレーティング システムおよびインストールされたソフトウェア プログラムが使用されます。ソフトウェアが原因でコンピュータが正常に動作しない、または停止する場合、その問題を修復できることがあります。

ソフトウェアの修復には、コンピュータの再起動だけで済む簡単なものもあれば、ハードドライブ上のファイルからシステムの復元を実行する必要があるものもあります。

注：コンピュータの修復は、このマニュアルに示されている順番で行ってください。

ソフトウェアの修復の概要

このセクションには、ソフトウェアのトラブルが発生した場合に、コンピュータを修復する方法を示します。各方法については、これに続くセクションで詳しく説明します。作業は、この概要に示されている順番で実行する必要があります。

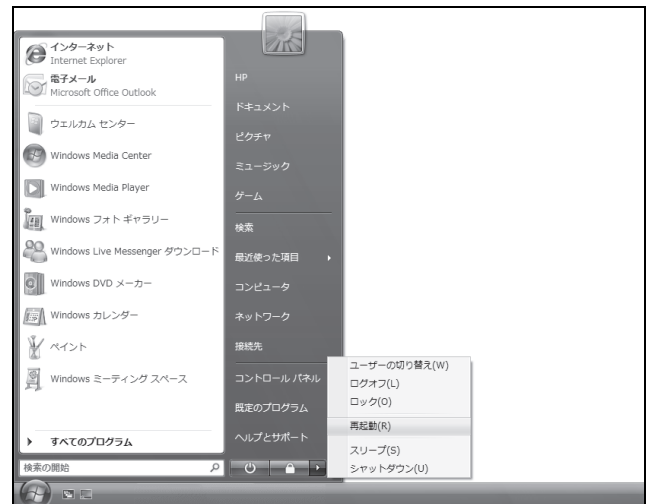
1 コンピュータの再起動
2 コンピュータの電源切断
3 ドライバの更新
4 Microsoftの[システムの復元]
5 ソフトウェア プログラムおよびハードウェア ドライバの再インストール
6 システム リカバリ

注：ハードドライブを交換する場合は、システム リカバリを実行するだけで済みます。

コンピュータの再起動

再起動は、最も簡単なコンピュータの修復方法です。コンピュータを再起動すると、オペレーティング システムおよびソフトウェアがメモリに再び読み込まれます。

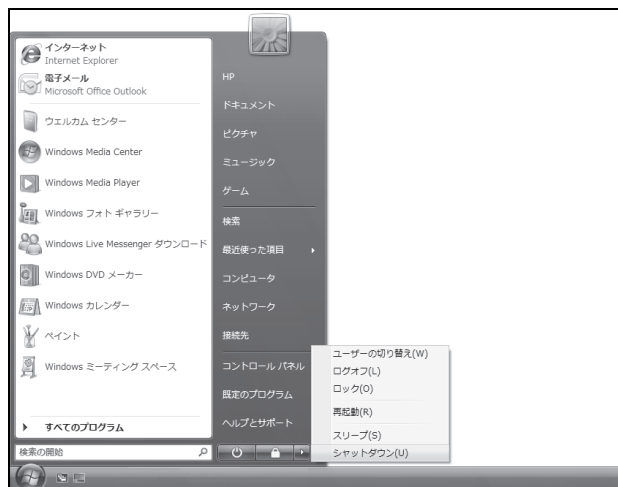
コンピュータを再起動するには、以下の手順で操作します。

1 開いているすべてのプログラムおよびウィンドウを閉じます。
2 **Windows Vistaのスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[再起動]**の順にクリックします。

コンピュータの電源切断

コンピュータの電源を切ってから再度電源を入れると、オペレーティング システムがメモリに再び読み込まれます。これにより、残っていた情報が一部消去されます。コンピュータを再起動しても問題が解消されない時は、この操作を行うことで解消できる場合があります。

コンピュータの電源を切るには、以下の手順で操作します。

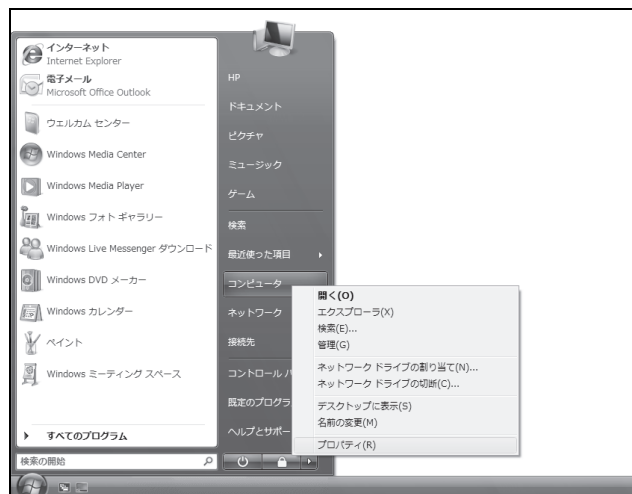
1 開いているすべてのプログラムおよびウィンドウを閉じます。

2 **Windows Vistaのスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印→[シャットダウン]**の順にクリックします。

3 電源ボタンを押して、コンピュータを起動します。

ドライバの更新

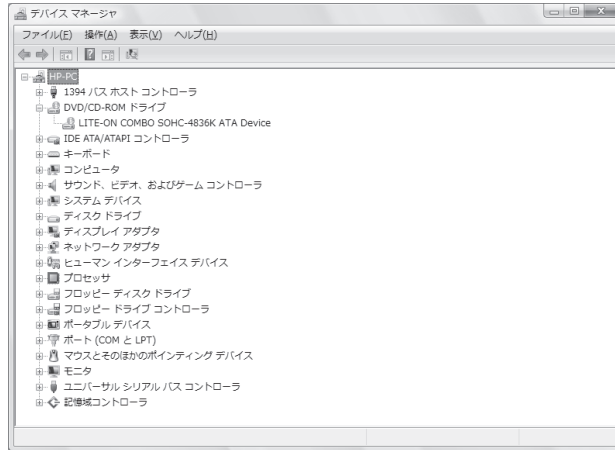
ドライバはプリンタ、ハードドライブ、マウス、キーボードなどの接続されたデバイスとコンピュータのやり取りを可能にするソフトウェア プログラムです。

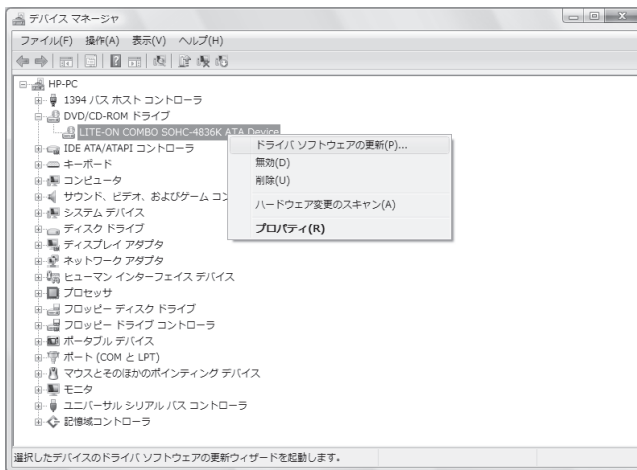
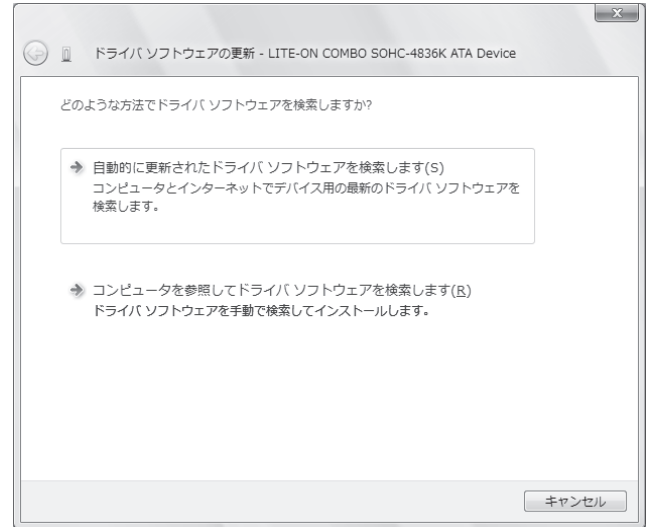
ドライバを更新するには、また、新しいドライバで問題が解決されない場合にドライバの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。

1 **Windows Vistaのスタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]**を右クリックして**[プロパティ]**を選択します。

2 **[タスク]**で**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］が表示されます。

3 **[続行]**をクリックします。

4 プラス記号(**+**)をクリックして、ドライバを更新または元に戻すデバイス([DVD/CD-ROMドライブ]など)を展開します。

5 目的の項目を右クリックし、**[ドライバ ソフトウェアの更新]**を選択します。

注:お使いのモデルにより、表示が異なる場合があります。

6 ドライバを検索する方法を選択し、画面の説明に沿って操作します。

Microsoftの[システムの復元]

Windows Vistaには、コンピュータの構成を、現在のソフトウェアの問題が発生する以前の構成に復元できる機能が含まれています。この機能は、その時点のコンピュータの設定を記録する「復元ポイント」を作成することで、実行されます。

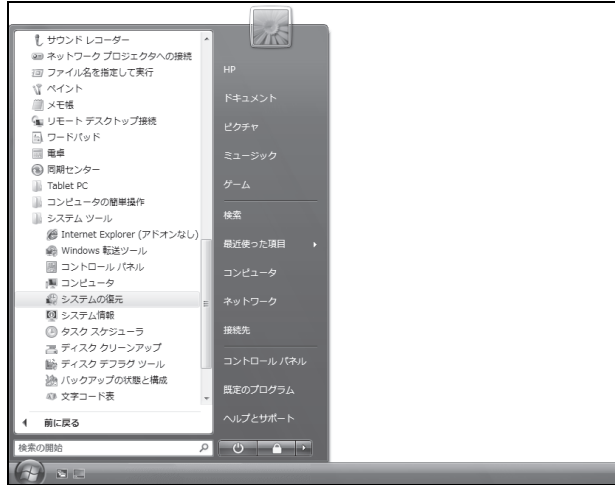
新しいプログラムがインストールされる時、インストール処理の前に、オペレーティング システムにより自動的に復元ポイントが作成されます。復元ポイントは手動で設定することもできます。

コンピュータ上のソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元]を使用して、コンピュータを以前の復元ポイントに戻します。

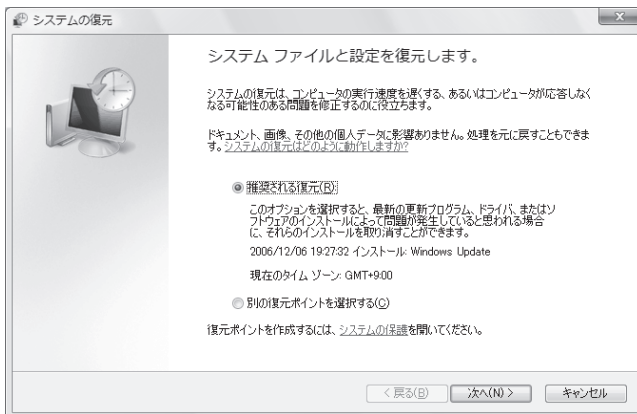
注:システム リカバリ プログラムを使用する前に、必ずシステムの復元を実行してください。

システムの復元を行うには、以下の手順で操作します。

1 開いているすべてのプログラムを閉じます。

2 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[システムの復元]**の順にクリックします。

［ユーザーアカウント制御］が表示されます。

3 **[続行]**をクリックします。

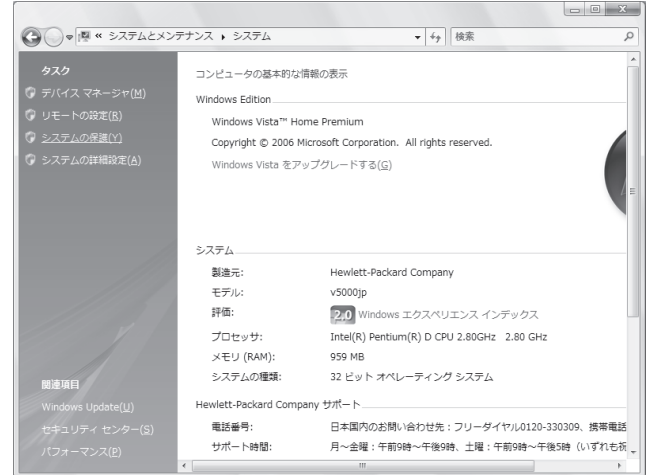
4 **[次へ]**をクリックします。

5 画面の説明に沿って操作します。

手動で復元ポイントを追加するには、以下の手順で操作します。

1 開いているすべてのプログラムを閉じます。

2 **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします。

3 **[システムとメンテナンス]→[システム]**の順にクリックします。

4 **[システムの保護]**をクリックします。

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

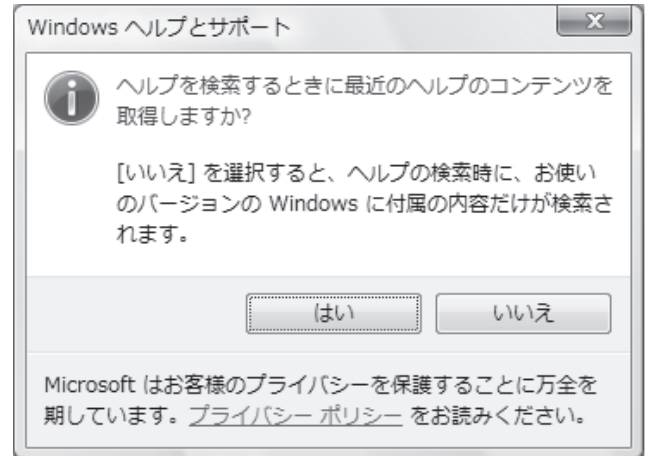
5 **[続行]**をクリックします。

6 **[自動復元ポイント]**で、復元ポイントを作成するディスクを選択し、**[作成]**をクリックします。

7 画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェアの復元ポイントについて詳しく調べるには、以下の手順で操作します。

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[ヘルプとサポート]**の順にクリックします。

2 以下のダイアログが表示された場合は、**[はい]**または**[いいえ]**をクリックします。

3 [検索]ボックスに「システムの復元」と入力し、**[検索]**をクリックします。

ソフトウェア プログラムおよびハードウェア ドライバの再インストール

工場出荷時にインストールされたソフトウェア プログラムまたはハードウェア ドライバが破損した場合は、Recovery Manager（リカバリ マネージャ）プログラムを使用してそれらを再インストールできます（一部のモデルのみ）。

注：コンピュータに同梱されているCDまたはDVDからインストールしたソフトウェア プログラムを再インストールする場合に、Recovery Managerプログラムを使用しないでください。これらのプログラムはCDまたはDVDから直接再インストールしてください。

プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在も利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、Recovery Managerから再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します。

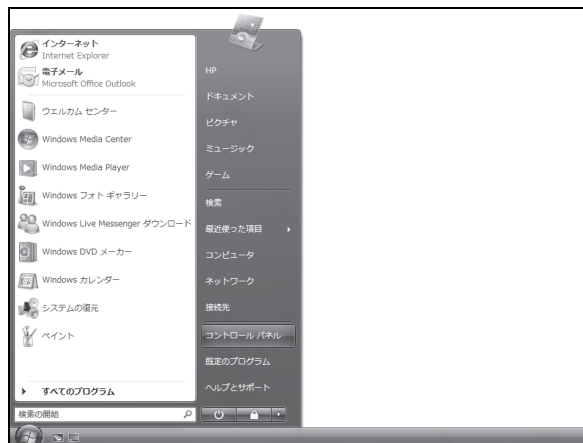
Recovery Managerでインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の手順で操作します。

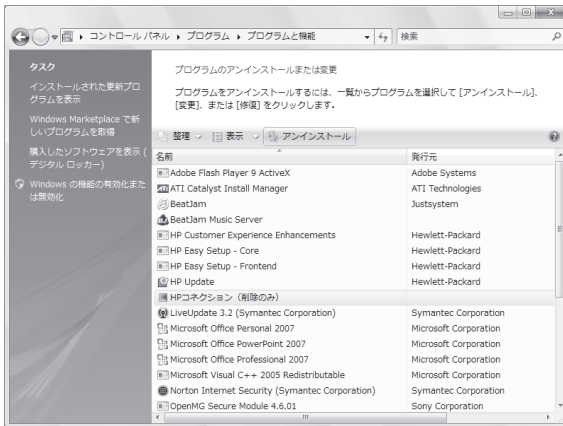
1. **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[Recovery Manager]**の順にクリックします。
2. **[アドバンスドオプション]→[お使いのコンピュータに付属のソフトウェア プログラムを再インストールしてください]→[次へ]**の順にクリックします。
3. [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ]画面で**[次へ]**をクリックします。

   プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します。

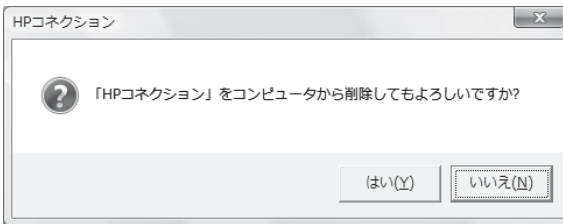
プログラムをアンインストールするには、以下の手順で操作します。

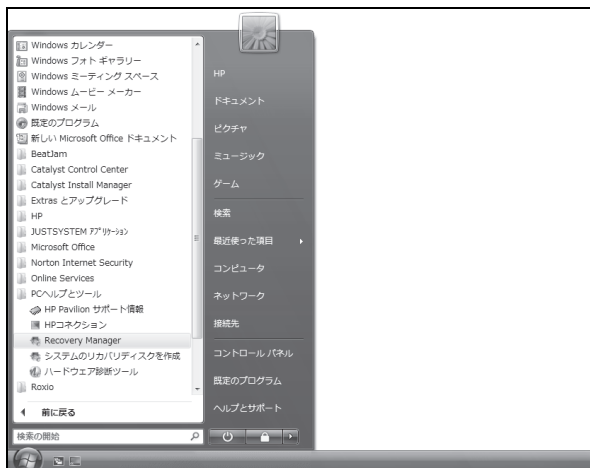
1. すべてのソフトウェア プログラムおよびフォルダを閉じます。
2. 破損したプログラムをアンインストールします。

   a **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします。

   b **[プログラム]**で**[プログラムのアンインストール]**をクリックします。

c 削除するプログラムを選択して**[アンインストール]**をクリックします。

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

d **[続行]**をクリックします。

e アンインストールの手順を続行する場合は**[はい]**をクリックします。

Recovery Managerを使用してプログラムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[Recovery Manager]**の順にクリックします。

2 **[アドバンスドオプション]→[お使いのコンピュータに付属のソフトウェア プログラムを再インストールしてください]→[次へ]**の順にクリックします。

3 [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ]画面で**[次へ]**をクリックします。

4 インストールするプログラムを選択して**[次へ]**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

5 再インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

注：最後の手順を省略しないでください。ソフトウェア プログラムまたはハードウェア ドライバのリカバリが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

システム リカバリ

これまでに説明したコンピュータの修復方法を試した後で、工場出荷時のオペレーティング システム、ソフトウェア プログラム、およびハードウェア ドライバを再インストールする最後の手段として、システム リカバリを実行できます。

システム リカバリ：ハードドライブの内容を完全に消去し、フォーマットします。これにより、これまでに作成したすべてのデータ ファイルも削除されます。システム リカバリにより、オペレーティング システム、プログラム、およびドライバが再インストールされます。ただし、工場出荷時にコンピュータにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピュータに同梱されているCDからインストールしたソフトウェア、およびコンピュータ購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

システム リカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

リカバリ イメージ：ハードドライブに格納されているリカバリ イメージからシステム リカバリを実行します。リカバリ イメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。ハードドライブ上のリカバリ イメージからシステム リカバリを実行するには、49ページの「ハードドライブからのシステム リカバリの開始」を参照してください。

注：リカバリ イメージは、ハードドライブの、データ保存に使用できない領域を使用します。

リカバリ ディスク：ハードドライブに格納されているファイルから作成したリカバリ ディスク（CDまたはDVD）のセットから、システム リカバリを実行します。リカバリ ディスクを作成する方法については、以下の項目を参照してください。

リカバリ ディスクの作成

このセクションで説明する手順を実行して、ハードドライブに格納されているリカバリ イメージから、リカバリ ディスクのセットを作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピュータにインストールされていたオペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムのファイルが含まれています。

お使いのコンピュータで作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。また、作成したリカバリ ディスクは、お使いのコンピュータでのみ使用できます。

リカバリ ディスクを作成した後、ハードドライブの使用可能領域を増やしたい場合は、リカバリ イメージを削除できます。

注：リカバリCDまたはDVDを作成していない場合は、リカバリ イメージを削除しないでください。

リカバリ ディスクの選択

リカバリ ディスクをCDではなくDVDで作成すると、以下の利点があります。

- DVDはCDよりも容量が大きいため、記録や格納に必要なディスクが少なくて済みます。
- DVDのリカバリ ディスクは、CDのリカバリ ディスクと比べて作成に時間がかかりません。

リカバリ ディスクを作成するには、コンピュータに、CD/DVD書き込みドライブ、またはCD/DVDに書き込み可能なその他のドライブが搭載されている必要があります。

DVD+RW、DVD-RW、およびCD-RWディスクは、リカバリ ディスクの作成に使用できません。

高品質のディスクを使用する必要があります。リカバリ ディスクセットの作成は非常に重要なため、高い基準での検証処理が行われます。「ディスク書き込み時の記録エラー」または「ディスクの検証中にエラーが検出されました」などのエラー メッセージが表示される場合があります。

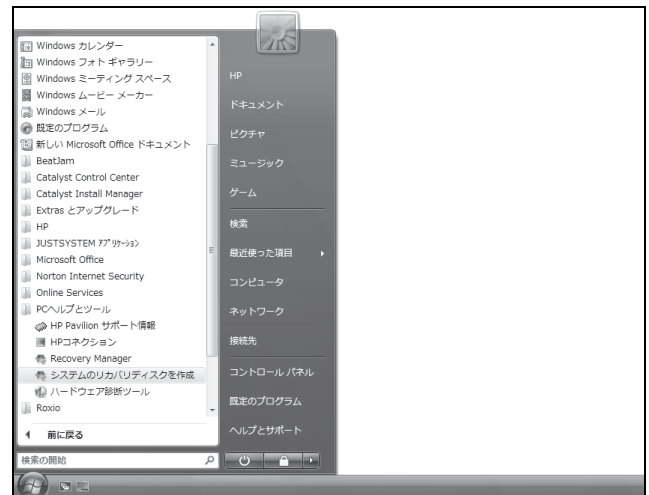
ディスクに問題があるために、そのディスクを使用できない場合があります。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます。ディスクを使用できないことは異常ではありません。

リカバリ ディスクに使用されるディスクの数は、お使いのコンピュータのモデルによって異なります。ディスクを作成するプログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。以下の表に、必要なディスクのおおよその数を示します。

ディスク ドライブ	ディスクの種類	必要な空のディスクの数
DVD	DVD-R、DVD+R	1～3枚
DVD	DVD+R（2層記録対応）	1～2枚
CD	CD-R	7～16枚
CDまたはDVDドライブがない		HPのサポート窓口に問い合わせてください

この作業は、ディスクに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行する時は、中止した場所から再開されます。

システム リカバリ ディスクを作成するには、以下の手順で操作します。

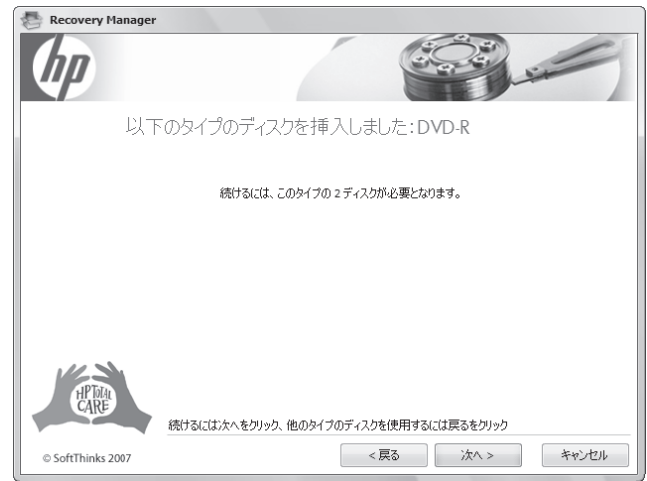
1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[システムのリカバリディスクを作成]**の順にクリックします。

   [ユーザーアカウント制御]が表示されます。

3. [続行]をクリックします。

   [Recovery Manager]ウィンドウが表示されます。

4 [**次へ**]をクリックします。

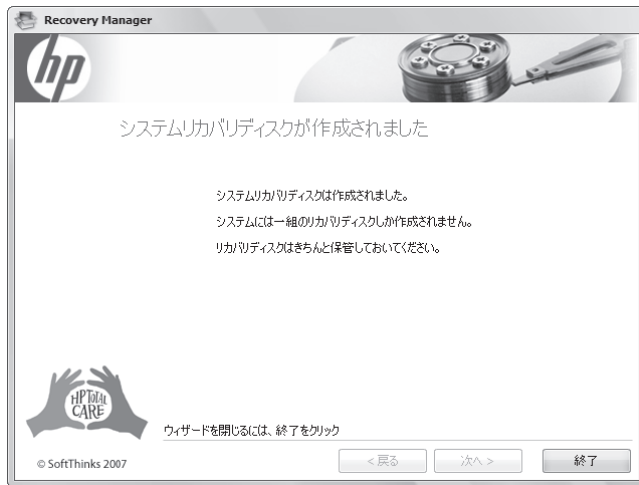
5 空のディスク（CDまたはDVD）を必要枚数用意し、最初の1枚を挿入し、[**次へ**]をクリックします。

6 [**次へ**]をクリックします。

リカバリ ディスクの作成が開始されます。

7 複数枚のディスクに書き込む場合は、ディスクが作成されたらそのディスクを取り出し、次のディスクを挿入して[**次へ**]をクリックします。

次のディスクの作成が開始されます。

8 ディスクが作成されたらディスクを取り出し、[次へ]をクリックします。

9 [終了]をクリックします。

作成したリカバリ ディスクにはラベル(リカバリ1、リカバリ2など)を付け、安全な場所に保管してください。

システム リカバリのオプション

システム リカバリは以下の順序で実行する必要があります。

1 ハードドライブを使用して:Windows Vistaのスタート メニューから
2 ハードドライブを使用して:システムの起動中にキーボードの[F11]キーを押す
3 作成したリカバリ ディスクから
4 HPのサポート窓口で購入したリカバリ ディスクから

   リカバリ ディスクを購入するには、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/support.htmlにアクセスし、ソフトウェアおよびドライバのダウンロード ページでお使いのコンピュータのモデルを検索します。

ハードドライブからのシステム リカバリの開始

ハードドライブ上のリカバリ イメージからソフトウェアを再インストールするには、次のどちらかの方法があります。

- スタート メニューからシステム リカバリを開始する
- システムの起動中にシステム リカバリを開始する

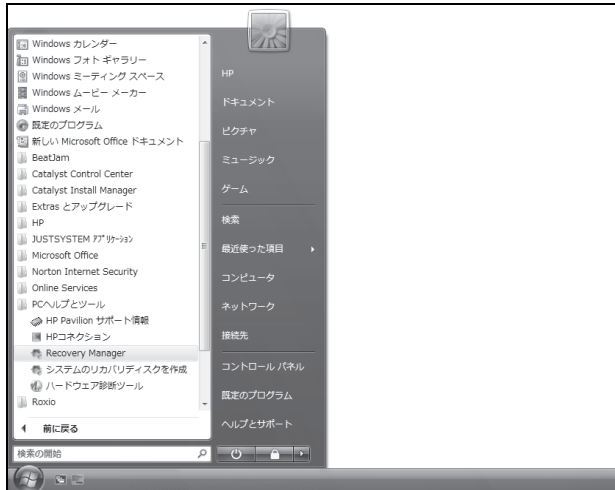
Windows Vistaスタート メニューからの システム リカバリの開始

コンピュータが機能しており、Windows Vistaを使用できる場合は、以下の手順でシステム リカバリを実行します。

注:システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

---

1 コンピュータの電源を切ります。
2 モニタ、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器(USB接続機器、プリンタなど)を、コンピュータからすべて取り外します。
3 コンピュータの電源を入れます。

4 **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[Recovery Manager]**の順にクリックします。

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

5 **[続行]**をクリックします。

6 [Recovery Managerへようこそ]ウィンドウで**[アドバンスドオプション]**ボタンをクリックします。

7 **[購入時の状態にコンピュータを復元]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。

8 次の画面で**[次へ]**をクリックします。

コンピュータが再起動します。

注:システムのリカバリ パーティションが検出されなかった場合、リカバリ ディスクを挿入するよう求められます。

---

9 [ようこそ]画面で**[次へ]**をクリックします。

10 システムの回復を行うよう求められたら、**[いいえ]→[次へ]**の順にクリックします。

11 システム リカバリの実行を確認する画面で**[はい]→[次へ]**の順にクリックします。

12 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[はい]**をクリックします。それ以外の場合は**[いいえ]→[次へ]**の順にクリックします。

システム リカバリが開始します。システム リカバリが完了すると、コンピュータが再起動します。

13 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。

14 コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。

15 52ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

システム起動中のシステム リカバリの開始

Windows Vistaを使用できないが、コンピュータが機能する場合は、以下の手順でシステム リカバリを実行します。

注:システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

---

1 コンピュータの電源を切ります。必要であれば、コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。

2 コンピュータから、モニタ、キーボード、およびマウス以外のすべての周辺機器を取り外します。

3 電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れます。

4 起動中にHP Inventのロゴが表示されたら、[Recovery Manager]ウィンドウが表示されるまで、キーボードの[F11]キーを繰り返し押します。

5 **[アドバンスドオプション]**ボタンをクリックします。

6 [アドバンスドオプション]ウィンドウで**[購入時の状態にコンピュータを復元]→[次へ]**の順にクリックします。

7 ファイルをバックアップするよう求められ、すでにバックアップを行ってある場合は、**[いいえ]→[次へ]**の順にクリックします。

8 システム リカバリが開始します。システム リカバリが完了すると、コンピュータが再起動します。

9 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。

10 コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。

11 52ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

リカバリ ディスクからのシステム リカバリの開始

このセクションでは、「システム リカバリ ディスクの作成」の説明に沿って作成したリカバリ ディスクからシステム リカバリを実行する手順について説明します。

注:システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

リカバリ ディスクを使用してシステム リカバリ プログラムを実行するには、以下の手順で操作します。

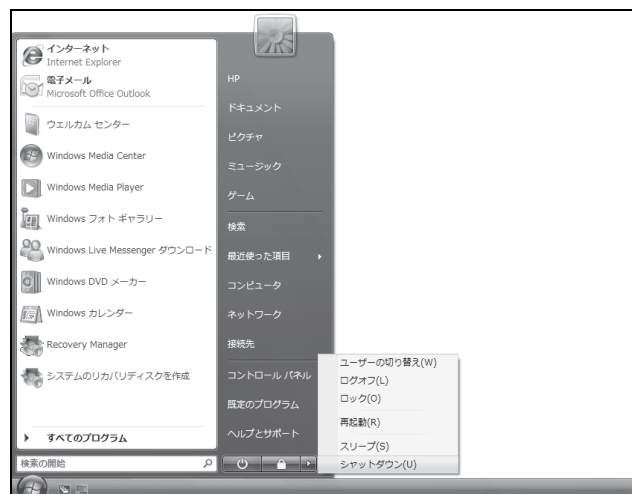
1 コンピュータが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータ ファイルをCDまたはDVDにバックアップします。完了したら、ディスク トレイからバックアップ ディスクを取り出します。

注意:ハードドライブ上のすべてのデータが削除されます。バックアップを行わない場合、すべてのデータが失われます。

2 リカバリ ディスク#1を、適切なドライブ トレイ(CDまたはDVD)に挿入し、トレイを閉じます。

3 コンピュータが動作している場合は、**Windows Vista**の**スタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[シャットダウン]**の順にクリックします。

または

コンピュータが応答しない場合は、コンピュータの電源が切れるまで、約5秒間電源ボタンを押したままにします。

4 コンピュータから、モニタ、キーボード、およびマウス以外のすべての周辺機器を取り外します。

5 電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます。

システム リカバリをディスクとハードドライブのどちらから行うかを選択するウィンドウが表示される場合があります。

6 リカバリ ディスクから行うオプションを選択し、**[次へ]**をクリックします。

7 [Recovery Managerへようこそ]画面で**[アドバンスドオプション]**をクリックします。

8 [アドバンスドオプション]ウィンドウで**[購入時の状態にコンピュータを復元]→[次へ]**の順にクリックします。

9 ファイルをバックアップするよう求められ、すでにバックアップを行ってある場合は**[いいえ]→[次へ]**の順にクリックします。

10 次のリカバリ ディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します。

11 Recovery Managerの処理が完了したら、最後のリカバリ ディスクを取り出します。

12 **[完了]**をクリックしてコンピュータを再起動します。

リカバリ手順実行後の作業

1 [Windows セットアップ]画面の説明に沿ってセットアップ手順を実行し、最後の画面で**[スタート]**をクリックしてWindowsデスクトップを表示します。

2 インターネットの接続設定を行います。

3 Windows Updateを実行して、Microsoftから重要な更新プログラムを入手します。

   a **Windows Vistaのスタート ボタン→[コントロール パネル]**の順にクリックします。

   b **[セキュリティ]の[更新プログラムの確認]**をクリックします。

   c **[更新プログラムのインストール]**をクリックします。

4 コンピュータを再起動します。（一部の更新プログラムは、再起動するまでインストールが完了しません。）

5 HP Updateを実行して、HPから重要な更新プログラムを入手します。

   a **Windows Vistaのスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[HP]フォルダ→[HP Update]**の順にクリックします。

   b 画面の説明に沿って操作し、ドライバおよびソフトウェアの更新プログラムをダウンロードします。

6 コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます。

7 コンピュータに付属のソフトウェアおよび追加で購入したソフトウェアを再インストールします。

   - コンピュータに付属のソフトウェアの一部は、システム リカバリ ソフトウェアによりすでに再インストールされている場合があります。

   - ソフトウェア プログラムの更新を行っていた場合は、再度更新プログラムをインストールます。更新プログラムは通常ソフトウェアの製造販売元のWebサイトからダウンロードできます。

8 システム リカバリの前にバックアップを行った場合は、バックアップ メディアからハードドライブに、バックアップ データ ファイルをコピーします。

9 システムで最新のセキュリティ ソフトウェアが実行されていることを確認します。

HP Pavilionデスクトップ PC修理依頼確認書

記入日 20　　年　　月　　日

①お客様情報

フリガナ		フリガナ	
お 名 前		住　所	〒
電話番号：	FAX番号：	平日昼間の連絡先（お勤め先・携帯電話等）：	
法人として使用している場合には、以下の情報もご記入ください。			
フリガナ		フリガナ	
貴 社 名		部 署 名	

【記憶装置(ハードディスクやメモリ等)内のオペレーティング システムおよびデータ等の消失に関するご同意確認】
・弊社では修理品内のOS、データ、各種設定、アプリケーション等のバックアップを行ないませんので、あらかじめご了承ください。
また、修理中にこれらのデータ等が消失する可能性もあり得ますが、いかなる場合でも弊社はこれらのデータ等の補償を
いたしません。
お客様の大切なデータ等を保護するためにも、必ずバックアップを取ってから修理品をお送りください。
※本項のご署名が無い場合、作業報告書にその旨を記載し修理をせずにご返却させて頂きます。

本項の内容について同意します。 ご署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

②修理品情報

修理受付番号[※1] 26＿＿＿＿＿ ＿＿＿			HP CarePack ☐本体用 3年 U4812E ☐モニタ用 3年 UC758E ☐無し
製品名：	製品番号： シリアル番号：		
修理料金のお見積り （有償修理の場合）	☐不要 連絡無しに修理してもよい ☐＿＿＿万円以下（税込み）であれば連絡無しに修理してもよい ☐必要（ 郵 送 ・ ＦＡＸ ・ 電 話 ）での見積連絡を希望		
本体と一緒に梱包する物	☐無し	☐保証書 ☐電源コード（＿＿＿本） ☐CD/DVD媒体（＿＿＿枚） ☐PCスタンド ☐キーボード（☐ワイヤレス、☐レシーバ） ☐マウス（☐ワイヤレス） ☐リモコン（☐レシーバ） ☐スピーカ ☐接続ケーブル（　　　　　　） ☐その他（　　　　　　　　　　　）	
【重要】 ハードディスクの初期化[※2] が必要になった場合	☐同意する ☐同意しない	ご署名 故障原因がハードディスクまたはソフト障害の場合、ご同意いただけないと修理することができません。そのままご返却することをご了承ください。ハードディスク故障またはソフト障害の場合だけ初期化、他の部品故障の場合はハードディスクを初期化しません。	
ウィルスが発見された場合	☐未処置で返却希望	☐ハードディスクの初期化を希望	
BIOSによるパスワード設定	☐設定していない	☐パスワードを教える（パスワード：　　　　）	
ハードディスクドライブロック （セキュリティ機能）のパスワード	☐設定していない	☐パスワードを教える（パスワード：　　　　）	
Windowsログオン時のパスワード	☐設定していない	☐パスワードを教える（パスワード：　　　　）	

※1 修理受付番号には、修理受付時に発行される 26で始まる10桁の番号をご記入ください。
※2 【重要】初期化によってハードディスク内に記録されているお客様のデータおよびソフトウェアはすべて消去されます。

③症状

具体的な症状をご記入ください：
発生頻度 ☐常時 ☐（　）回/日 ☐（　）回/週 ☐（　）回/月 ☐起動直後 ☐起動から（　）時間後くらい
発生条件（特定の条件や動作を具体的にご記入ください）：

④修理品の引き取り先・返却先情報 ☐①のお客様情報と同じ ☐以下の宛先を希望

フリガナ		フリガナ	
お 名 前		住　所	〒
電話番号：	FAX番号：	平日昼間の連絡先（お勤め先・携帯電話等）：	
法人として使用している場合には、以下の情報もご記入ください。			
フリガナ		フリガナ	
貴 社 名		部 署 名	

【重要】地上波デジタルチューナが故障した場合
地上波デジタルチューナを修理交換すると、ハードディスク内の録画済みデータを再生できなくなることがあります。
万一何らかの不具合により、正常に録画・編集されなかった場合の内容の補償、記録した内容が正常に再生できなくなった場合の
録画・編集内容の補償につきましては、当社は責任を負いかねます。ご容赦ください。[※3]
※3 HP PavilionデスクトップPCを修理に出す時は、B-CASカードはPCと同梱し一緒に修理センターへお送りください。
【お客様情報について】
「HP PavilionデスクトップPC修理依頼確認書」にご記入いただきました、お客様の氏名・住所等の個人情報は、厳重に管理し、
修理のためだけに利用します。また、この目的のため、業務委託先などに提供する場合がありますので、ご承知おきください。

PD-FM001-03